

令和2年度 鶴見区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	2年度		元年度		増△減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	鶴見区人材育成推進事業	2,986	2,986	3,049	3,049	△ 63	△ 63
2	魅力ある区役所づくり事業	15,038	12,229	11,986	10,177	3,052	2,052
3	発見つるみ!～データでみる鶴見区～	799	789	778	768	21	21
4	鶴見区広報・広聴事業	2,869	1,921	2,614	1,678	255	243
5	鶴見区脱温暖化行動推進事業	1,152	1,152	1,202	1,202	△ 50	△ 50
6	「千客万来つるみ」プロモーション事業	8,000	8,000	8,000	8,000	0	0
7	つるみ・地域の課題解決サポート事業	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0
8	商店街魅力発信事業	1,050	1,050	1,100	1,100	△ 50	△ 50
9	多文化のまち・つるみ推進事業	14,711	14,631	11,616	11,536	3,095	3,095
10	鶴見区民まつり支援事業	3,700	3,700	5,600	5,600	△ 1,900	△ 1,900
11	つるみクリーンタウン事業	2,927	2,927	2,931	2,931	△ 4	△ 4
12	自治会町内会振興事業	2,037	2,037	1,961	1,961	76	76
13	防災活動推進事業	12,162	12,162	14,011	14,011	△ 1,849	△ 1,849
14	放置自転車対策事業	6,650	6,650	6,970	6,970	△ 320	△ 320
15	交通安全推進事業	2,298	2,298	2,054	2,054	244	244
16	鶴見区防犯活動支援事業	2,238	2,238	2,243	2,243	△ 5	△ 5
17	地域文化・区民活動推進事業	2,846	2,758	2,836	2,748	10	10
18	区民スポーツ振興事業	1,050	1,050	1,050	1,050	0	0
19	青少年健全育成事業	2,013	2,013	2,013	2,013	0	0
20	つるみDE子育て応援事業	3,315	3,315	3,465	3,465	△ 150	△ 150
21	つるみの未来を育てる保育所事業	3,800	3,800	3,552	3,552	248	248
22	鶴見区虐待予防事業	2,647	2,647	2,774	2,774	△ 127	△ 127
23	鶴見・あいねっと推進事業	2,984	2,984	2,935	2,935	49	49
24	ヘルスアッププラン	4,027	4,027	2,496	2,496	1,531	1,531
25	「広げよう見守りの輪」推進事業	968	968	2,025	2,025	△ 1,057	△ 1,057
26	感染症対策事業	433	433	417	417	16	16

令和2年度 鶴見区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書 番号	事業名	2年度		元年度		増△減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	678	678	1,017	1,017	△ 339	△ 339
28	鶴見区高齢者はつつ生活応援事業	1,840	1,840	1,963	1,963	△ 123	△ 123
29	生活衛生サポート事業	991	991	1,212	1,212	△ 221	△ 221

[鶴見 区 総務 課]

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	その他	事業開始年度	平成6年度
------	--------	---------	-----	--------	-------

事業名	鶴見区人材育成推進事業
-----	-------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,986					2,986
前年度	3,049					3,049
増△減	△ 63	0	0	0	0	△ 63

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,762	1,880	2,399	予算	事業費	2,986	2,986
	メリット+一般財源	1,762	1,880	2,399		一般財源	2,986	2,986
決算	事業費	851	2,119	2,018	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	851	2,119	2,018				

事業の概要(目的)	全職員が一体感を持ち、“チームつるみ”の一員として意欲・能力を最大限発揮できるよう人材育成に取り組むとともに、庁内のコミュニケーション・情報共有を促進し、業務効率化を図ります。また、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、人権啓発講演会を開催します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	—
----------	---

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 4 「区民サービスの向上」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市職員研修規程(平成30年4月改正)、横浜市人材育成ビジョン(平成30年3月改訂)、横浜市職員人権啓発研修推進要綱(平成27年4月改正)、横浜市人権施策基本指針(平成29年1月改訂)、横浜市人権啓発推進計画(平成25年3月改訂)、横浜市電子市役所推進に関する要綱(平成26年6月改正)等
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

1 人材育成推進

様々な機会をとおした研修の開催と職員の主体的取組の推進により、一般的な研修形態にとられない人材育成が行われています。恒例となった「引越しシーズンの窓口応援」など、各課横断的連携も着実に進んでおり、窓口サービスのより一層の向上を図る風土が醸成されています。今後も地道な取組をとおし、あらゆる側面から人材育成を行います。

2 人権啓発講演会

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み	3年度見込み
講演会参加者	309名	445名	468名	450名	300名	300名

3 ICTの活用促進

- ・OA関係機器管理(修繕等)を適宜行います。
- ・総務課専用サーバーの作動管理及びメンテナンスを継続して行います。

【実施内容】

1 人材育成推進

職員として必要なスキルの習得や意識改革の推進

- 窓口サービス向上：市民局が実施する外部評価等を活用し、区の課題を把握し、改善を図ります。
- 人権啓発研修：職員一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識を深められるよう研修等を実施します。
- 職員企画・提案型研修：職員が主体的に企画を行うことで、講師及び受講者のスキルアップを図ります。
- その他研修：転入職員研修、人材育成研修のほか、区職員として必要な知識を身に付ける研修を随時実施します。
- 改革推進委員会(つるみ笑顔と感動！プロジェクト)：各課横断的取組として、職員の自主的検討と課題解決を実践します。

2 人権啓発講演会

区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催します。

3 ICTの活用促進

区役所内の事務事業の効率化のため、パソコン等のOA機器を管理・運営します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 人材育成推進	自 404	自 467	△ 63	実績に基づく減
2 人権啓発講演会	自 985	自 985	0	
3 ICTの活用促進	自 1,597	自 1,597	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,986	3,049	△ 63	
内 自主企画事業費	2,986	3,049	△ 63	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

過去の実績等に基づき積算

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	今仁 知宏	吉濱 隆宗	西野 希美

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見 区 総務 課]

No.	2
-----	---

予算区分	区役所総務費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	その他 子育て支援	事業開始年度	平成6年度
------	--------------------------	---------	--------------	--------	-------

事業名	魅力ある区役所づくり事業
-----	--------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	15,038		2,809			12,229
前年度	11,986		1,809			10,177
増△減	3,052	0	1,000	0	0	2,052

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	8,686	8,227	9,655	予算	事業費	15,038	15,038
	メリット+一般財源	6,434	5,908	7,491		一般財源	12,229	12,229
決算	事業費	19,461	11,568	19,026	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	17,277	9,195	16,825	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	・清潔かつ快適な区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。 また、区行政への様々なニーズに対応します。 ・子どもを伴って来庁する市民の利便性を向上させるため、同伴の乳幼児を一時的に預かります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 4「区民サービスの向上」
3 根拠法令・要綱等	鶴見区役所一時託児施設運営要綱、鶴見区役所一時託児サービス保育要領、鶴見区役所一時託児推進事業実施要領

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み	3年度見込み
託児数(人)	727	780	595	584	584	584	584

【実施内容】

区庁舎環境整備
 庁内案内表示の整備、窓口周辺整備、レイアウト変更など、区庁舎環境を整備します。
 区行政推進費
 来庁者に対するサービス向上を図るための事務経費
 一時託児サービス事業
 1 事業内容 一時託児
 2 場所 区役所1階常設託児スペース
 3 時間 週3日(月・水・木曜日(祝日除く))の8時50分～16時10分
 4 対象 生後6か月以上6歳以下の乳幼児
 5 利用料 無料
 6 方法 保育ボランティア(地域振興課で実施する保育ボランティア養成講座受講者のうちの希望者)による保育
 保育ボランティア年間延人数：30年度572人、29年度580人、28年度972人、27年度972人

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区庁舎環境整備	自 10,702	自 7,670	3,032	セキュリティ対策等による増
区行政推進費	自 2,668	自 2,668	0	
一時託児サービス事業	自 1,668	自 1,648	20	日数の増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	15,038	11,986	3,052	
内 自主企画事業費	15,038	11,986	3,052	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 今仁 知宏	係長 篠田 行正	予算調整係 石神 卓也
--------------------	-------------	-------------	----------------

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成16年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	発見つるみ！ ～データでみる鶴見区～
-----	-----------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	4
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	799		10			789
前年度	778		10			768
増△減	21	0	0	0	0	21

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	129	682	129	予算 事業費	799	799
メリット+一般財源	129	682	129	一般財源	789	789
決算 事業費	82	473	159	方針に関する決裁 種別()		
メリット+一般財源	82	473	159	有:件名()、日付(年月)		

事業の概要(目的)	区民が鶴見区の概要を容易に理解し、地域に親しみを持っていただけるよう、各種統計データをコンパクトにわかりやすくまとめ、冊子を発行する。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	
地域課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 4 「区民サービスの向上」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
発見つるみ		-	2,500部(※)	-	2,000部	2,000部	2,000部	2,000部
発見つるみ概要版		-	-	7,000部	7,000部	7,000部	7,000部	7,000部

※鶴見区政90周年記念式典で配付したため、500部増刷しました

- 【実施内容】
- 発見つるみ
 - 様式(予定)：A4版 24頁 カラー印刷
 - 内容：鶴見区の各種統計数値(区の誕生、面積、地勢、歴史、人口、国勢調査、産業等)
 - 公表：鶴見区ホームページでの公表、冊子の発行
 - 発見つるみ概要版
 - 様式(予定)：A4版 2頁 カラー印刷
 - 公表：区役所戸籍課窓口で転入者に配布

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
発見つるみ～データでみる鶴見区～	799	778	21	送付方法見直し、概要版デザイン委託料の増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	799	778	21	
内 自主企画事業費	799	778	21	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
冊子発行数は、区内の小・中学校、図書館等の公共施設数や鶴見区役所各課での配布数等に基づき積算。概要版発行数は、戸籍課窓口で配布している転入者セット数に合わせて積算。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	統計選挙係
	今仁 知宏	塚原 百合子	浅野 早衣子

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見区 区政推進課]

No.	4
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	鶴見区広報・広聴事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,869		948			1,921
前年度	2,614		936			1,678
増△減	255	0	12	0	0	243

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	4,427	3,509	3,320	予算	事業費	2,869	2,869
決算	メリット+一般財源	3,590	2,622	2,205	決算	一般財源	1,921	1,921
決算	事業費	3,778	4,583	3,198	方針に関する決裁種別()			
決算	メリット+一般財源	2,722	3,542	2,270	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	・地域メディアを活用し広報の充実を図るとともにホームページ及びツイッターで適時・迅速な情報提供を行います。 ・広聴事業を展開し、多様化する区民ニーズや地域の課題を踏まえ、各種課題を把握し区政運営を推進します。また、行政では対応できない区民の課題について特別相談事業を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	【広報】 ホームページは、内容を充実させ、情報発信を積極的に行う必要があります。 【広聴】 区政を推進するにあたり、区民の視線で運営しなければなりません。そのために積極的に区民ニーズを把握し活用を図る必要があります。 地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口対応等 2 陳情 8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 4「区民サービスの向上」
3 根拠法令・要綱等	【HP】横浜市インターネット利用ガイドライン 【相談・広聴】「市民の声事業の実施に関する取扱要綱」「市民の声の公表の実施に関する取扱要綱」「横浜市の保有する情報公開に関する条例」「横浜市個人情報の保護に関する条例」「鶴見区民会議運営委員会活動補助金交付要綱」

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
生活・防災マップ発行部数	5,000	6,600	5,600	5,600	5,600	5,600

※平成26年度までは隔年で印刷・発行していましたが、平成27年度より、総務課で発行している防災マップと統合し、毎年印刷・発行する予定です。費用は総務課と按分します(平成30年度は区政推進課と総務課で計17,000部発行予定)。

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度見	2年度見込み
一般相談件数	2,046	2,110	2,097	2,556	2,600	2,600
情報公開受付数	39	50	74	36	40	40
広聴受付件数	412	502	524	530	530	530

※特別相談のうち、弁護士による法律相談は平成27年度までは毎週金曜日に実施していましたが、平成28年度以降は毎週金曜日、第1・3水曜日に実施しています。
 ※平成30年度から新たに司法書士相談を開始し、区民の生活における相談窓口を拡大しました。

- 【実施内容】
- ホームページ等その他広報事業
 地域メディアの活用を取り入れ、多様な広報媒体による広報を展開します。また、鶴見区ホームページやツイッターにより行政情報を発信します。
 - 生活・防災マップ等発行事業
 ・鶴見区の地理関係がわからない転入者向けに地図を配布し、地域情報を提供します。
 ※平成27年度より、事業の効率化と経費節減のため、総務課発行の「防災ガイド」と「区民生活マップ」を統合しました。
 ・令和元年度に都市整備局で作成した「鶴見区バスマップ」のデータ修正及び管理業務を移管し、更新したマップを印刷します。
 ・令和元年度に策定した区マスタープランの冊子を増刷します。
 - 広聴事業
 区民の声を収集し、積極的に活用した市政・区政の運営を目指します。
 市民局の「市民からの提案」をはじめとする、いわゆる「市民の声」事業を利用することで、より効果的な広聴事

様式3-1

業の運用を目指します。

さらに、行政と区民が地域の課題を共有し、協働で解決に取り組める関係を築くための話し合いの場として、区民会議を開催しています。この会議の運営により、「個人・地域にとってできること」を中心に、区民同士でも活発な意見交換が行われています。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ホームページ等その他広報	自 1,600	自 1,395	205	前年度実績に基づく増
生活・防災マップ等発行事業	自 819	自 769	50	データ更新したバスマップの印刷費計上による増(2年度より都市整備局から移管)
広聴事業	自 450	自 450	0	
			0	
事業費合計	2,869	2,614	255	
内 自主企画事業費	2,869	2,614	255	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成30年度鶴見区広聴情報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談 係
	飯島 龍	高橋 亜紀	西上 香織

(鶴見 区 - 4)

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見区 区政推進課]

No.	5
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成20年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 鶴見区脱温暖化行動推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	7
	中期計画-行政運営			10	1		事業評価書番号	
	中期計画-財政運営			10	2			
	重点事業			10	4			
	新規・拡充							
	温暖化対策関連事業		○					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,152					1,152
前年度	1,202					1,202
増△減	△ 50	0	0	0	0	△ 50

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,293	1,293	1,373	予算	事業費	1,152	1,152
	メリット+一般財源	1,293	1,293	1,373		一般財源	1,152	1,152
決算	事業費	1,280	1,197	1,078	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	1,280	1,197	1,078	有:件名()、日付(年月)			
					(無)			

事業の概要(目的)	鶴見区地球温暖化対策行動指針に基づき、区民・地域・事業者と連携して温暖化対策を広めるため、脱温暖化行動の啓発活動を推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	地球温暖化問題は、全地球規模で対処すべき重大な課題であり、区民、団体、事業所、行政が一体となって地球温暖化対策に取り組む必要があります。また、鶴見区は、古くから横浜の経済を支えた京浜工業地帯に位置し、区全体で市街化が進んでおり、CO ₂ をオフセットできる緑が少ない状況にあります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	「横浜市地球温暖化対策実行計画」(区域施策編) 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議設置要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】
平成20年度に鶴見区地球温暖化対策推進本部を立ち上げ、地域、団体、事業所が共に取り組んでいく行動指針“つるみのエコ10か条”を策定しました。平成21年度は、各家庭が省エネなどのCO₂排出量削減に取り組むためのツールとして鶴見区環境家計簿を作成し、エコ博や子ども向けのエコ教室を開催しました。平成22年度以降は、各種イベントにおける脱温暖化PR活動を実施しています。
令和2年度以降も引き続き、行政のみならず、区内企業や活動団体等も巻き込んだ運動を展開する必要があります。

【実施内容】
1 鶴見区地球温暖化対策・3R夢推進会議の開催
地域、事業者、区民活動団体と行政のパートナーシップで温暖化対策を進めるため、意見交換、情報共有等を目的とした会議を開催します。
2 脱温暖化行動PR事業
省エネを主とした脱温暖化行動が、家庭、地域や団体で浸透していくよう、地域で行われる各種イベント等で温暖化対策に係るPRを実施します。
3 緑のカーテン事業
夏季に区庁舎2階・3階及び土木事務所で引き続き緑のカーテン事業を実施します。また、区庁舎1階の壁面緑化箇所についても引き続き適切な管理を行います。

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
脱温暖化行動PR事業	自 700	自 750	△ 50		
緑のカーテン事業	自 452	自 452	0		
事業費合計	1,152	1,202	△ 50		
内 自主企画事業費	1,152	1,202	△ 50		
内 重点事業	0	0	0		

【根拠とするデータ等】
平成30年度実績を踏まえ計上
・脱温暖化行動PR事業(エコ教室2回、地域PR2回等)
・緑のカーテン事業(緑のカーテン実施期間：5月～11月、壁面緑化実施期間：4月～3月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 今仁 知宏 飯島 龍	係長 篠田 行正 飯田 俊輔	予算調整・企画調整 係 石神 卓也 西田 あかね
--------------------	---------------------	----------------------	--------------------------------

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見 区 区政推進 課]

No.	6
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成24年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
「千客万来つるみ」プロモーション事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	8
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,000					8,000
前年度	8,000					8,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	2,270	2,990	5,714	予	事業費	8,000	8,000
算	メリット+一般財源	2,270	2,990	5,714	算	一般財源	8,000	8,000
決	事業費	2,179	3,009	4,795	方針に関する決裁 種別() 看:件名()、目付(年月) (無)			
算	メリット+一般財源	2,179	3,009	4,795				

事業の概要(目的)	歴史や文化など鶴見の魅力を発信し、地域、企業、行政等の連携によって取組を進めることで、地域コミュニティの一体感を高めるとともに、区外からの集客促進によって、地域経済の活性化を図ります。
-----------	--

(説明)			
1 地域の課題等	市の誘客促進施策は都心臨海部が中心になりがちですが、そこから外れている鶴見区にも魅力的な観光資源は多くあります。これらの区の魅力を区が積極的に発信していくことは、区局や地域が新たな横浜の魅力を発見することにもつながり、ひいては市全体の知名度・認知度向上や横浜経済の活性化、交流人口の増加に寄与するものと考えます。		
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望	8 その他
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」		
3 根拠法令・要綱等	なし		

【実績の推移・今後見込み】				
	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
鶴見ウチナー祭	55,000人	70,000人	70,000人	70,000人
旧東海道ウォーキングイベント	1,748人	500人※雨天	1,800人	1,800人

- 【実施内容】
- 魅力づくり
 - 区内魅力強化:観光コースの策定
 - 区外広報強化:鉄道駅等を活用した区外へのPR
 - 海外観光客対応強化:外国語対応デジタル観光マップの作成
 - 観光ポータルサイト開設
区内企業・団体の繋がりを生かした観光等の情報発信媒体の運用
 - 魅力PR媒体作成
 - 客船旅行者誘致事業
港湾局と連携したイベントの実施
 - ウチナー祭の共催
 - 京浜急行電鉄株式会社等との連携による旧東海道ウォーキングイベントの開催

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
魅力づくり	自 1,500	重 1,550	△ 50	広告手法の切替えによる減
観光ポータルサイト開設	自 500	重 0	500	新規事業開始による増
魅力PR媒体作成	自 3,000	重 2,950	50	経費の増
客船旅行者誘致事業	自 1,000	重 750	250	元年度実績に基づく増
ウチナー祭の共催	自 200	重 150	50	過去実績及び消耗品在庫補充のための増
事務経費	自 400	重 100	300	沖縄国際映画祭への出席、輪島市訪問のための増
京急電鉄との連携事業	自 1,400	重 1,000	400	30年度実績に基づく増
旧東海道魅力づくり事業	自 0	重 1,500	△ 1,500	京急電鉄との連携事業への統合による減
事業費合計	8,000	8,000	0	
内 自主企画事業費	8,000	8,000	0	
訳 重点事業	0	8,000	△ 8,000	

【根拠とするデータ等】
横浜市観光集客指標、各イベントアンケート

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 飯島 龍	係長 飯田 俊輔	企画調整 係 加藤 早紀
--------------------	------------	-------------	-----------------

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見区 区政推進課]

No.	7
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成25年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
つみ・地域の課題解決サポート事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	10
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,000					3,000
前年度	3,000					3,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	2,500	2,500	3,000	予算	事業費	3,000	3,000
	メリット+一般財源	2,500	2,500	3,000		一般財源	3,000	3,000
決算	事業費	1,431	2,015	1,119	決算	事業費		
	メリット+一般財源	1,431	2,015	1,119		一般財源		

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	地域主体による取組では困難な地域課題の解決に向けて、区として機動的に対応するための支援や調査を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	鶴見区では、地域課題に対する地域の自主的な解決への取組支援策の一つとして、平成24年度から「区役所が一体となった新たな地域支援体制の運用」を開始し、地区担当責任職をトップとして各地区連合ごとに地区別支援チームを組織しています。 地区別支援チームが収集する地域情報や、地域の方との意見交換・聴取の機会などを通じて、地域の抱える様々な課題が浮かび上がっていますが、対応の方向性を整理していく中で、地域主体での取組では解決が困難な課題や、所管する機関(区、市、国、民間企業など)が明確でない課題、緊急性が高い課題に対し、具体的な対応策の検討が必要となっています。
----------	---

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	6 区民要望		
-------------	----------	--------	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

(1) 平成28年度実施内容 [2件]
・区内小学校スクールゾーン路面標示補修 ・鶴見区制90周年記念事業実行委員会への補助金交付

(2) 平成29年度実施内容 [4件]
・鶴見駅周辺案内図修繕工事 ・横浜市立新鶴見小学校用地の一部の所管換えに係る土地調査委託等
・JR鶴見駅東口バスターミナル両面ボール型時計の修理に係る負担金
・潮田交流プラザ1階喫茶室内装補修委託

(3) 平成30年度実施内容 [4件]
・鶴見区内案内板点検調査委託業務
・鶴見駅周辺案内看板の一部表記修正委託
・鶴見川大曲広場境界杭の付け替え工事
・鶴見区明るい選挙推進大会記念講演会講師派遣、一時託児、手話通訳等

【実施内容】

(1) 地域課題の解決に向けた区の機動的支援策
様々な機会における地域との意見交換等で浮かび上がった課題のうち、地域主体での解決が困難な課題、所管機関が明確でない課題、緊急性が高い課題に対し、区が機動的に対応するための経費

(2) 地域課題の解決に向けた調査・検討
様々な機会における地域との意見交換等で浮かび上がった課題について、解決を図るための調査・研究費

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
(1)(2) 区の機動的支援策、調査検討	自 3,000	自 3,000	0	
事業費合計	3,000	3,000	0	
内 自主企画事業費	3,000	3,000	0	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
平成30年度実績等を踏まえ計上。既存事業の枠では対応しにくい地域課題を解決するために、区が機動的に対応するという事業主旨から、具体的な積算を行うことは困難。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域力推進担当
	飯島 龍	坂田 弘太郎	西田 あかね

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見区 地域振興 課]

No.	8
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成20年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	商店街魅力発信事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	11
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,050					1,050
前年度	1,100					1,100
増△減	△ 50	0	0	0	0	△ 50

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	830	1,000	1,093	予	事業費	1,050	1,050
算	メリット+一般財源	830	1,000	1,093	算	一般財源	1,050	1,050
決	事業費	750	849	817	方針に関する決裁種別() 有:件名()、目付(年月) 無			
算	メリット+一般財源	750	849	817				

事業の概要(目的)	商店街を核とした地域の賑わいを創出するイベントへの支援等を通して、商店街振興を図るとともに、鶴見区の魅力を発信します。
-----------	---

(説明)																																																						
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見区内の商店街は、大型店舗の出店等による売上げの減少、後継者不足、空き店舗の増加等の問題に直面しています。 ・上記の問題により、区内の多くの商店街は衰退傾向にあり、地域での商店街の存在感や認知度が薄れつつあります。 ・商店街が衰退することにより、地域の活気が低下したり、買物難民化する人々が出現するなど、区民の暮らしへの影響が懸念されます。 																																																					
地域の課題等の収集手段																																																						
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」																																																					
3 根拠法令・要綱等	鶴見区商店街魅力発信事業補助金交付要綱																																																					
【実績の推移・今後見込み】 鶴見区商店街魅力発信支援事業 補助金交付実績																																																						
年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																		
実施件数	3件	3件	3件	2件																																																		
商店街	尻手銀座親交会 小野町通り共栄会 つくの商店街	尻手銀座親交会 小野町通り共栄会 つくの商店街	尻手銀座親交会 小野町通り共栄会 つくの商店街	尻手銀座親交会 小野町通り共栄会																																																		
※元年度については8月31日時点の状況です。																																																						
【実施内容】		1 鶴見区商店街魅力発信支援事業 商店街と地域との結びつきを強めて商店街振興を図るため、商店街が地域と連携した事業に補助金を交付します。																																																				
2 鶴見区商店街マップの拡充		経済局からの区配予算を使用して平成30年度に作成した鶴見区商店街マップを拡充し更なる商店街の魅力発信及び認知度を向上を目的に、区内の商店街等で配布します。																																																				
【事業費の内訳】		<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴見区商店街魅力発信事業</td> <td>自 1,050</td> <td>自 1,100</td> <td>△ 50</td> <td>要綱に基づく単価設定による減</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>1,050</td> <td>1,100</td> <td>△ 50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 自主企画事業費</td> <td>1,050</td> <td>1,100</td> <td>△ 50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 重点事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	鶴見区商店街魅力発信事業	自 1,050	自 1,100	△ 50	要綱に基づく単価設定による減				0					0					0					0					0		事業費合計	1,050	1,100	△ 50		内 自主企画事業費	1,050	1,100	△ 50		内 重点事業	0	0	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																																		
鶴見区商店街魅力発信事業	自 1,050	自 1,100	△ 50	要綱に基づく単価設定による減																																																		
			0																																																			
			0																																																			
			0																																																			
			0																																																			
			0																																																			
事業費合計	1,050	1,100	△ 50																																																			
内 自主企画事業費	1,050	1,100	△ 50																																																			
内 重点事業	0	0	0																																																			
【根拠とするデータ等】		・補助金交付実績 (H30年度)																																																				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興 係
	岩田 慶隆	曾我 直樹	山口 由起子

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見区 区政推進 地域振興 課]

No.	9
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	国際交流	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	多文化のまち・つるみ推進事業
-----	----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
4	5

事業評価書番号	12
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	14,711		80		14,631
前年度	11,616		80		11,536
増△減	3,095	0	0		3,095

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	9,938	8,749	8,808	予算	事業費	14,711	14,711
	メリット+一般財源	8,808	8,269	8,728		一般財源	14,631	14,631
決算	事業費	8,619	7,283	7,953	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	8,129	7,205	7,863	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」に基づき、鶴見区の多文化共生を推進するための事業を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

- ・鶴見区には13,486人(元年7月末現在)の外国籍区民が住んでおり、23人に1人の割合です。過去のヒアリング調査で言葉の壁などから地域で孤立して不安を抱えて生活している実態が明らかになっています。そのため、区役所窓口での通訳サービスを充実させるとともに、外国人が母語で情報を入手できる機会の提供や、区全体で多文化共生のまちづくりを進めていくことが必要です。
- ・国際交流ラウンジは、外国人区民の増加および多国籍化に伴い、日々変化する多様なニーズに対応した施設運営が求められています。また、外国人区民と接する関係組織・団体と連携して外国人区民に対応する必要があります。
- ・国際交流ラウンジは、多文化共生の拠点としての機能を期待されており、より多くの区民及び関係組織・団体に認知される必要があります。そのために、ホームページやSNS等での広報・PRに力を入れていく必要があります。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」
-------------	----------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市国際交流ラウンジ取扱要綱、鶴見国際交流ラウンジ運営事業実施要綱等
------------	-------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

- 1 Facebook等による生活情報の発信
英語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語、中国語(H30～)で、2～3回/月程度配信。
Facebook：平成30年6月から配信開始。令和元年度中にベトナム語・タガログ語を配信開始予定。
※メールマガジン：平成20年度開始。令和元年度をもって配信を終了し、Facebookに一本化の予定。
区庁舎無料Wi-Fiの提供：令和元年度中に開始。

- 2 市民通訳ボランティアの配置
28年度から週1回配置。区役所業務や行政情報の案内について、各課窓口にて日本語-中国語間の通訳を実施。

	28年度	29年度	30年度	元年度(～7月)
対応件数	265	330	289	119
1日平均件数	5	6.4	5.5	7

- 3 タブレット端末による多言語対応実施事業
国際局とりまとめにより5区(鶴見・神奈川・西・中・南区)で、複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスのモデル実施(英語、中国語ほか)。

	28年度	29年度	30年度	元年度(～7月)
対応件数	133	127	187	75
1ヶ月平均件数	11	10.5	15	18.8

- 4 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業
プロスポーツチームの外国人選手による特別訪問事業

5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

(1) 窓口相談件数

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
延件数	2,002	2,833	3,357	3,443	3,632
うち外国人からの相談件数	1,442	1,874	2,518	2,540	2,684

(2) 研修室利用人数

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
延人数	9,234	9,047	11,113	16,548	16,833

(3) 学習支援教室参加延人数

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
児童生徒数	846	1,025	1,072	1,346	1,517
ボランティア数	922	1,015	777	1,035	1,051
合計	1,768	2,040	1,849	2,381	2,568

【実施内容】

1 Facebook等による生活情報の発信

行政からの情報が届きにくいといわれる外国人区民への情報提供手段のひとつとして、Facebookによる情報提供を行います。また、区庁舎において無料Wi-Fiを提供します。
 (英語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語、中国語に加え、令和元年度より新たにベトナム語・タガログ語(予定)でも配信を開始予定)
 ※メールマガジンは令和元年度をもって配信を終了し、Facebookに一本化の予定。

2 市民通訳ボランティア配置業務

鶴見区で最も数が多い中国人の母語である中国語で、区役所業務や行政情報の案内について、各課窓口で通訳を実施します。(週1回)

3 タブレット端末による多言語対応事業

複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施します。
 (端末設置台数5台、英語・中国語ほか)

4 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業

区内イベントにおいて啓発を実施します。

5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

- (1) 多言語による相談対応：日本語を含む7言語による相談対応
- (2) 託児付日本語教室・ガイダンス：外国人親子を対象とした日本語教室や、日本の文化や習慣、社会制度を理解してもらうためのガイダンスの開催
- (3) 交流・啓発：外国人と日本人の相互理解を目的とする交流会やイベントの実施
- (4) 学習支援：日本語指導を必要とする子どもたちを対象とした学習支援教室の開催。小学生クラスと中学生クラスをそれぞれ設置し、中学生にはさまざまな学びと研修の機会も提供します。
- (5) 人材育成：日本語学習支援をはじめとするボランティア育成講座の開催
- (6) 情報発信：多言語による情報紙の発行、ホームページ・SNS等での情報発信。情報発信を行い、ラウンジの広報・PRを強化します。

6 多言語対応推進事業 【新規】

- (1) 各課において作成した資料等の多言語翻訳について、一括契約を行います。
- (2) 多言語翻訳機を導入します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 Facebookによる生活情報の発信	重 2,054	自 2,028	26	多言語広報の拡充(さらなる活用に向けた媒体や手法の検討・実施)
2 市民通訳ボランティア配置業務	重 900	自 1,038	△ 138	元年度契約に基づく減
3 タブレット端末による多言語対応 モデル実施事業	重 500	自 500	0	
4 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業	重 345	自 310	35	研修内容見直しによる増
5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業	重 8,586	自 7,740	846	消費税増税および新規事業実施等に伴う委託料増
6 多言語対応推進事業	重 2,326	自 0	2,326	多言語対応強化に伴う増
事業費合計	14,711	11,616	3,095	
内 自主企画事業費	14,711	11,616	3,095	
訳 重点事業	14,711	0	14,711	

【根拠とするデータ等】

横浜市区別外国人人口(令和元年7月末現在)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整・区民活動支援 係
	飯島 龍 岩田 慶隆	飯田 俊輔 風間 梨沙	伴 紗英子 高橋 未来子

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 鶴見区民まつり支援事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 14
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,700					3,700
前年度	5,600					5,600
増△減	△ 1,900	0	0	0	0	△ 1,900

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 算 事業費	5,194	5,970	5,200	予 算 事業費	3,700	3,700
メリット+一般財源	5,194	5,970	5,200	一般財源	3,700	3,700
決 算 事業費	5,194	4,679	5,200	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無		
決 算 メリット+一般財源	5,194	4,679	5,200			

事業の概要 (目的)	区民が鶴見区に親しみ、愛着を深めるため、子どもからお年寄りまで幅広い年代の区民が気軽に参加できる地域交流の場として区民まつりの開催を支援します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	地域への愛着を深め区民の一体感を醸成していくことは、地域の活性化につながります。そのためにはイベント当日だけでなく、その準備過程において地域が関わり、主体的に盛り上げていくことが重要です。鶴見区は、まつりにより区民相互及び行政を含めた連携を作ってきましたが、実行委員会の実行力やノウハウは各まつりで差があります。また、実行委員会の構成メンバーが年々高齢化しており、行政側の支援範囲が拡大傾向にあります。今後も地域に根差した区民まつりを継続していくためには、地域における若い担い手の発掘や育成を検討していく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 4 地区懇談会
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 2 「区内経済・活力の向上」
3 根拠法令・要綱等	鶴見区民フェスティバル事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

区民まつり	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度	R1年度見込	R2年度見込
来場者数(人)	137,000	157,000	95,000	163,000	100,000	100,000

【開催中止】 つるみ臨海フェスティバル (H29年度)、鶴見川サマーフェスティバル (R1・R2年度)

【実施内容】

- 鶴見区民まつり支援
鶴見区民フェスティバル実行委員会が主催となって区民主体の実施運営を支援します。
- ・三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル (期日：5月中旬)
 - ・つるみ臨海フェスティバル (期日：10月中旬～下旬)
 - ・鶴見川サマーフェスティバル (R2年度休止)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル	自 1,700	自 1,200	500	開催コストの上昇による増
つるみ臨海フェスティバル	自 2,000	自 1,400	600	開催コストの上昇による増
鶴見川サマーフェスティバル	自 0	自 3,000	△ 3,000	R2年度開催休止による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	3,700	5,600	△ 1,900	
内 自主企画事業費	3,700	5,600	△ 1,900	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

開催コストの上昇傾向により、繰越金が年々減少しています。繰越金の減少が著しい実行委員会(三ツ池・臨海)については、安定的にまつりを開催できるよう、補助金の拡充が必要です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩田 慶隆	係長 奥村 晃一	区民活動支援 係 田島 裕一郎
--------------------	-------------	-------------	--------------------

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	つるみクリーンタウン事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	1、3、6
12	1、2

事業評価書番号	15
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,927					2,927
前年度	2,931					2,931
増△減	△4	0	0	0	0	△4

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	2,248	2,307	2,775	予算	事業費	2,927	2,927
	メリット+一般財源	2,248	2,307	2,775		一般財源	2,927	2,927
決算	事業費	2,137	2,247	2,426	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	2,137	2,247	2,426	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢プラン」の目標である3R、特にごみと資源の発生抑制による脱温暖化を推進するため、普及・啓発活動を区民等と共に推進する。地域清掃支援やポイ捨て・喫煙禁止地区対策強化、不法投棄防止・撤去及び啓発活動を実施し、きれいな街つるみを実現する取り組みを進める。また、道路ふれあい月間関連事業においては、市民との協働による大規模な一斉清掃を行い、道路の役割や重要性をPRする。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等
 「分別・リサイクル」については、区民に一定程度定着していることから、これを維持・向上させるべく分別相談・啓発を継続し、さらに、在留外国人等対象者に合わせたわかりやすい啓発やプラスチック問題に関する意識の醸成に取り組む等、一層の拡充を図る必要がある。ごみの「発生抑制(リデュース)」についても、土壌混合法や食品ロス削減の啓発等、生ごみの発生抑制を中心に重点的に取り組む。また、クリーンタウン事業や鶴見クリーンアップ事業を通し、区民・地域と協働してきれいな街づくりに取り組む。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	4 地区懇談会	8 その他
-------------	------------	------	---------	-------

2 運営方針等との関係
 令和元年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、横浜市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例、横浜市一般廃棄物処理基本計画、横浜市環境事業推進委員要綱、鶴見区美化推進員要綱、鶴見川桜・緑化実行委員会活動補助金交付要綱、「道路ふれあい月間」実施要綱(国土交通省通知)等

【実績の推移・今後見込み】
 イベント等におけるPR活動、保育園等での環境学習等の啓発活動を、地域住民の協力も得ながら展開している。また、鶴見駅周辺美化推進重点地区・喫煙禁止地区内におけるポイ捨て・喫煙禁止条例の周知・啓発活動、簡易清掃活動を継続する。不法投棄対応及び防止啓発についても、引き続き実施する。道路ふれあい月間関連事業(H26開始)については、今後も毎年実施予定。

【実施内容】
 ≪ヨコハマ3R夢推進事業≫ イベント等での3R啓発、保育園等での環境学習、土壌混合法講習会、分別説明会等の実施
 ≪鶴見区クリーンアップ事業≫ 地域清掃活動支援のための物品配付・貸与(鶴見クリーンキャンペーン)
 不法投棄防止・景観向上のための地域団体による花壇整備の支援(まちかど花壇事業)
 不法投棄の通報対応、不法投棄防止啓発、喫煙禁止地区等のマナー啓発
 地域団体による鶴見川岸の清掃活動支援(鶴見川桜・緑化実行委員会への活動補助金)
 ≪道路ふれあい月間関連事業≫ 地域住民や事業者との協働による鶴見駅東口周辺や鶴見銀座商店街の打ち水・一斉清掃・道路PR活動、J R鶴見駅東西自由通路の高圧洗浄機を使用した清掃

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ヨコハマ3R夢推進事業	自 586	自 751	△ 165	リーフレット製作費の減
鶴見区クリーンアップ事業	自 2,189	自 2,030	159	ごみ袋素材変更による増
道路ふれあい月間関連事業	自 152	自 150	2	消費税率上昇による増
事業費合計	2,927	2,931	△ 4	
内訳				
自主企画事業費	2,927	2,931	△ 4	
重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
 ・バイオマスプラスチックごみ袋、軍手の見積りにより概算を算定 ・花苗配布実績(30年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 峰 聡明 石井 純	係長 一色 裕介 武田 貴	地域振興・管理 係 福田 理恵 檜垣 正海
--------------------	--------------------	---------------------	-----------------------------

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	自治会町内会振興事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	16
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,037					2,037
前年度	1,961					1,961
増△減	76	0	0	0	0	76

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	1,691	1,734	1,752	予	事業費	2,037	2,037
算	メリット+一般財源	1,691	1,734	1,752	算	一般財源	2,037	2,037
決	事業費	1,679	1,748	1,803	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
算	メリット+一般財源	1,679	1,748	1,803				

事業の概要(目的)	自治会町内会との信頼関係を確保し、良好な関係を維持するため、「自治会町内会長感謝会」及び「地域振興連絡事業(回覧物等の配送)」を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の推進役、担い手が不足しています。 ・地域活動の推進役の高齢化が進んでいます。 ・鶴見区では自治会町内会の組織率が高く、126団体のうち124団体が鶴見区自治連合会に加入しています。 ・地域活動を継続して行うことは大変負担が大きいものの長年ご尽力され、地域に貢献されている方も多くいます。 ・行政関係機関から自治会町内会への依頼が多く、負担となっています。
----------	---

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望	6 区民要望	1 日常の窓口対応等
-------------	-------------	--------	------------

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 1 「地域力の強化」
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例、鶴見区自治会町内会長永年在職者表彰要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】 町内会長表彰者実績	平成30年度(22名) 令和元年度(15名)※予定 令和2年度(23名)※予定
----------------------------	---

【実施内容】	(1) 自治会町内会長感謝会 ① 期日 令和3年3月上旬～中旬予定 ② 会場 鶴見区内の会場 ③ 内容 永年在職者の表彰・記念品の贈呈、区長等市役所職員との懇談 (2) 地域振興連絡事業 地域への依頼・連絡事項等の資料(回覧物等)を各自治会町内会(126町会)へ配送する。(8月を除き毎月実施。11回)
--------	--

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
自治会町内会長感謝会	自 895	自 881	14	
地域振興連絡事業	自 1,142	自 1,080	62	令和元年度実績(賃金上昇等)による増
事業費合計	2,037	1,961	76	
内 自主企画事業費	2,037	1,961	76	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
 市民局調査「自治会町内会実態調査」(平成28年度アンケート)、「自治会町内会加入状況」(平成30年4月1日時点)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興係
	岩田 慶隆	曾我 直樹	山口 遼

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	防災活動推進事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3

事業評価書番号	17
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	12,162					12,162
前年度	14,011					14,011
増△減	△ 1,849	0	0	0	0	△ 1,849

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度		令和4年度
予算	事業費	10,043	10,507	10,389	12,162	12,162	
	メリット+一般財源	10,043	10,507	10,389	12,162	12,162	
決算	事業費	9,824	12,423	9,833			
	メリット+一般財源	9,824	12,423	9,833			

方針に関する決裁種別()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要(目的)	風水害、地震及び都市災害等の災害時に備え、地域における自助・共助の取組促進、地域防災拠点及び区本部機能の強化、関係防災機関等との連携強化を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	地震及び風水害等の被害を出来る限り最小限にする減災に向けた防災意識向上を含めた様々な取組を推進するとともに、実災害時に対応するための区本部機能の強化を図ります。 出入国管理に関する法律改正に伴い、外国人居住者増加による外国人のための「自助・共助」を主体とした防災力向上の啓発を行います。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市震災対策条例、横浜市災害対策本部条例、横浜市防災計画、鶴見区防災計画、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、共助のための防災活動補助金要綱、鶴見区防災会議要綱、鶴見区水防協議会補助金交付要綱、※横浜市計画
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

- 防災イベントや地域啓発を行うこと及び地域の防災活動を積極的に支援することにより、区民の防災意識の向上が図られるとともに、自助・共助の取組みが推進されます。
- 風水害、地震、都市災害などに対応するための区本部機能の強化が図られます。
- 地域における風水害、地震等の防災知識の普及啓発が進められ、地域防災力の向上が図られます。

【実施内容】

- 自助・共助の推進
 - 自助・共助の取組推進
 - 啓発イベント等による防災啓発
 - 共助のための防災活動支援事業
 - 地域防災拠点の運営力強化
 - 資機材の点検・修繕
 - 地域防災拠点担当者の研修実施
 - まるごとまちごとハザードマップ維持・管理
- 区本部等強化事業
 - 災害対策本部訓練及び区役所職員体制維持
 - 災害時に備えた連絡体制の確立、区役所職員の災害時対応力向上のための訓練費用
 - 水防協議会補助金
 - 鶴見区水防協議会への補助金の交付を行います。水防協議会の活動は、鶴見川の水害時における被害防止活動や被害者の生活援助活動、水害対策訓練、啓発活動等を行っていますが、流域住民の新たな要望となる高齢者等、災害時要援護者避難支援活動の一部を水防団（消防団）が担うなどの調整を進め、災害発生時の水防対策の強化を図ります。

- (3) 防災計画の修正
令和元年台風15号、19号をはじめ近年の風水害による被害を踏まえ、「鶴見区防災計画～風水害対策編～」を修正します。
- (4) つるみ生活・防災マップの印刷
つるみ生活・防災マップの更新、印刷及び多言語版の作成

3 災害時医療体制推進事業

- (1) 災害時医療体制の確保
- (2) 区内医療機関、関係団体及び地元町内会等と連携した災害医療訓練の実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 自助・共助の推進			0	
(1) 自助・共助の取組促進	重 300	重 300	0	
(2) 共助のための防災活動支援事業	重 1,200	重 1,200	0	
(3) 地域防災拠点の充実強化	重 2,000	重 2,000	0	
(4) 防災啓発フォローアップ	重 434	重 2,704	△ 2,270	まるごとまちごとハザードマップ更新完了による減
2 区本部等強化事業			0	
(1) 本部訓練及び体制維持	重 1,956	重 4,685	△ 2,729	購入備品変更による減
(2) 鶴見区防災会議	重 15	重 15	0	
(3) 水防協議会補助金	重 200	重 200	0	
(4) 防災計画の印刷	重 1,000	重 1,100	△ 100	防災計画改定済による減
(5) 生活・防災マップ	重 4,321	重 1,071	3,250	多言語マップ作成による増
3 「災害時医療体制」推進事業	重 736	重 736	0	
事業費合計	12,162	14,011	△ 1,849	
内 自主企画事業費	12,162	14,011	△ 1,849	
訳 重点事業	12,162	14,011	△ 1,849	

【根拠とするデータ等】

横浜市防災計画【震災対策編】、横浜市防災計画【風水害対策編】、横浜市防災計画【都市災害対策編】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務・企画運営 係
	今仁 知宏 市川 裕章	藤本 謙司 熊田 充浩	緑川 泰輝 高橋 正幸

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	放置自転車対策事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	18
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,650					6,650
前年度	6,970					6,970
増△減	△ 320	0	0	0	0	△ 320

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	6,456	6,310	6,430	予算	事業費	6,650	6,650
	メリット+一般財源	6,456	6,310	6,430		一般財源	6,650	6,650
決算	事業費	5,728	6,032	5,974	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	5,728	6,032	5,974				

事業の概要(目的)	駅周辺の安全を確保し、安心できるまちづくりを進めるため、自転車等放置防止推進協議会の活動を支援するとともに、放置自転車等の対策を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

J R鶴見駅及び京急鶴見駅周辺は、歩道等に放置自転車がが多く、歩行者の通行に支障をきたしています。監視員の配置、啓発、撤去・移動等を継続して実施していますが、鶴見駅東口の再開発の完了に伴い、放置自転車の台数は引き続き多い傾向にあります。また、京急鶴見駅も平成28年10月1日から放置禁止区域が拡大されており、啓発や撤去、工作物を設置することにより物理的に駐輪が出来ないようにする等の対応策を強化する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	-------------

2 運営方針等との関係 令和元年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」

3 根拠法令・要綱等 横浜市自転車等の放置防止に関する条例、同施行規則
鶴見区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱ほか

【実績の推移・今後見込み】

- ①放置禁止区域内重点対策：放置自転車の監視員の配置を実施
放置自転車移動作業を土曜日に年10日程度実施
- ②自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付

【実施内容】

- ①放置禁止区域内重点対策：J R鶴見駅、京急鶴見駅周辺の放置自転車監視。道路局の放置自転車移動作業を補完します。
- ②自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付：J R鶴見駅、京急鶴見駅、矢向駅、尻手駅、生麦駅、鶴見市場駅の各協議会に交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
放置自転車禁止区域重点対策	自 6,010	自 6,330	△ 320	撤去作業の減
自転車等放置防止推進協議会補助金	自 640	自 640	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	6,650	6,970	△ 320	
内 自主企画事業費	6,650	6,970	△ 320	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

道路局30年11月調査「横浜市内137駅周辺の放置自転車等の実態について」

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩田 慶隆	係長 曾我 直樹	地域振興係 福田 理恵
--------------------	-------------	-------------	----------------

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見 区 地域振興 課]

No.	15
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	------	--------	-------

事業名	特記事項		中期計画-38の政策	事業評価
	交通安全推進事業	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	政策番号 主な施策番号	書番号 19 事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,298					2,298
前年度	2,054					2,054
増△減	244	0	0	0	0	244

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
					事業費	1,210
メリット+一般財源	1,210	1,310	2,328	一般財源	2,298	2,298
決算	1,190	1,615	2,504	方針に関する決裁 種別()		
メリット+一般財源	1,190	1,615	2,504	有:件名()、日付(年月)		

事業の概要(目的)	区民が中心となって安全で安心なまちづくりに向け、関係機関と連携し、区内で交通安全の啓発活動を推進すると共に、子どもの交通事故防止のためスクールゾーン内の安全確保を図ります。
-----------	--

(説明)																																																			
1 地域の課題等	<p>交通事故の発生件数は減少傾向にある一方、高齢者の事故、自転車による事故は増加傾向にあります。また、鶴見区は自転車事故の割合が多く、神奈川県より平成27年から5年連続「自転車事故多発地域」に指定されています。このため、特に、自転車利用者への啓発に重点を置き、自転車事故防止に努めることが急務です。</p> <p>また、高齢者や子どもの安全確保など、地域課題や多様化するニーズにきめ細かく対応するためには、地域ぐるみの交通安全対策が不可欠です。</p> <p>子どもの交通安全対策では、区内22の小学校において、スクールゾーン内の安全確保・維持のため、各校に設置されているスクールゾーン対策協議会の活動を継続的に支援するとともに、必要な安全対策を講じることが重要です。</p> <p>さらに、交通安全等鶴見区の安全・安心なまちづくりに向け、地域をはじめ、鶴見警察署、鶴見交通安全協会、鶴見安全運転管理者会等関係機関と十分連携し、取り組む必要があります。</p>																																																		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望																																																		
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」																																																		
3 根拠法令・要綱等	交通安全対策基本法、横浜市交通安全対策協議会会則、違法駐車追放地区協議会設置要項、違法駐車追放地区活動補助金要綱、スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、通学路標識設置要領、スクールゾーン路面標示設置要領、スクールゾーン電柱巻標識取付要領																																																		
<p>【実績の推移・今後見込み】</p> <p>(1)区交通安全功労者表彰の実施 平成30年度は、21人、5団体を顕彰しました。</p> <p>(2)交通安全啓発活動 各季交通安全運動・強化月間の期間中、地域、関係機関と連携し、街頭キャンペーン等啓発活動を実施しました。子どもや高齢者を対象に、交通安全教室・講習を開催しました。(小学生を対象とした交通安全教室22校、高齢者交通安全講習7回)</p> <p>(3)スクールゾーン対策 区内22小学校のスクールゾーン対策協議会ごとに助成金を交付するとともに、スクールゾーン内の安全点検を行いました。(標示、安全標識等の新設・補修)</p> <p>【実施内容】</p> <p>(1)交通安全啓発事業:各季交通安全運動でのキャンペーン実施。年3回の区交通安全対策協議会の運営、交通安全功労者表彰の実施。子どもや高齢者を対象にした交通安全講習会の実施。(小学生を対象にした交通安全教室22校、高齢者交通安全講習7回)</p> <p>(2)スクールゾーン対策事業:区内22小学校に設置しているスクールゾーン対策協議会の円滑な運営を支援するために助成金を交付します。また、児童等の安全確保のため、土木事務所と連携し、道路標示等の新設・補修・撤去を行います。</p> <p>【事業費の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通安全啓発活動</td> <td>自 426</td> <td>自 382</td> <td>44</td> <td>消費税率アップのため</td> </tr> <tr> <td>区交通安全功労者表彰</td> <td>自 52</td> <td>自 52</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクールゾーン対策</td> <td>自 1,820</td> <td>自 1,620</td> <td>200</td> <td>実績に伴う増のため</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>2,298</td> <td>2,054</td> <td>244</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 自主企画事業費</td> <td>2,298</td> <td>2,054</td> <td>244</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訳 重点事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	交通安全啓発活動	自 426	自 382	44	消費税率アップのため	区交通安全功労者表彰	自 52	自 52	0		スクールゾーン対策	自 1,820	自 1,620	200	実績に伴う増のため				0					0					0		事業費合計	2,298	2,054	244		内 自主企画事業費	2,298	2,054	244		訳 重点事業	0	0	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																															
交通安全啓発活動	自 426	自 382	44	消費税率アップのため																																															
区交通安全功労者表彰	自 52	自 52	0																																																
スクールゾーン対策	自 1,820	自 1,620	200	実績に伴う増のため																																															
			0																																																
			0																																																
			0																																																
事業費合計	2,298	2,054	244																																																
内 自主企画事業費	2,298	2,054	244																																																
訳 重点事業	0	0	0																																																
<p>【根拠とするデータ等】</p> <p>・各季運動・強化月間の実施報告書 (H30年度) ・スクールゾーン対策協議会要望書 (H30年度)</p>																																																			
本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩田 慶隆 係長 曾我 直樹 地域振興 係 相原 洋三																																																		

[鶴見 区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	鶴見区防犯活動支援事業
-----	-------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	20
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,238					2,238
前年度	2,243					2,243
増△減	△5	0	0	0	0	△5

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,940	2,011	2,067	予算	事業費	2,238	2,238
	メリット+一般財源	1,940	2,011	2,067		一般財源	2,238	2,238
決算	事業費	1,472	1,899	1,816	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,472	1,899	1,816				

事業の概要(目的)	地域防犯力の向上を目的として、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

毎年行われている市民意識調査において、鶴見区では「今後、充実すべきだと思う公共サービス」で「防犯対策」が上位になるなど、防犯対策に対する区民の関心や要望が高い状況です。また、最近では特に振り込み詐欺の手口が複雑・多様化・巧妙化し、区役所職員や銀行員を名乗る還付金詐欺などが発生しているため、引き続き区民への注意喚起が必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	5 区民アンケート
-------------	------------	------	-----------

2 運営方針等との関係 令和元年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」

3 根拠法令・要綱等 鶴見区鋼管ポール防犯灯緊急修繕費補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
鶴見区内犯罪発生件数	2,873	2,485	2,069	2,210	1,957	1,817	1,641	1,569	1,439
対前年比	△12%	△13%	△17%	7%	△11.4%	△7.2%	△9.6%	△4.3%	△8.3%

【実施内容】

- 防犯啓発活動
 - 防犯リーダー研修会
地域の防犯リーダーの資質向上と地域による自主防犯活動の拡大のため、防犯リーダー研修会を開催します。
講座実施回数：地域防犯を主なテーマとして講師を招いて1講座
対象：自治会町内会の防犯部、自主防犯パトロール隊、学援隊、PTAなど
 - 犯罪発生・防犯情報の提供
Eメールによる犯罪情報の提供を引き続き実施するとともに、区民向け防犯に関する情報のPRを行います。
 - 振り込み詐欺の注意喚起
警察と連携した注意喚起チラシ・啓発物品の作成等により、区民へ注意喚起を実施します。
- こども防犯活動支援事業
 - 「防犯教室」支援事業
「子どもへの犯罪」「子どもの犯罪」をテーマに、児童生徒または親子、保護者、地域を対象とした「防犯教室」の開催を支援します。
 - 「こども110番の家」推進事業
「こども110番の家」の活動を継続支援します。
 - 「地域における見守り活動」支援事業
学校等と連携し、小学校下校時における見守り活動を実施します。

- 3 地域防犯活動支援事業
 (1) 防犯パトロール活動支援
 地域の防犯パトロール活動用の防犯物品を提供し、活動しやすい環境づくりを支援します。
 (2) 防犯パトロール実施委託
 事業委託により、防犯パトロールを実施します。
 (3) 迷惑電話防止機器の貸与
 振り込め詐欺対策のため、迷惑電話防止機器を貸与します。

- 4 まちの安全推進事業
 (1) 「防犯灯修繕」支援事業
 地域の実情により緊急で防犯灯の修繕が必要な場合に支援を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
防犯啓発活動	自 85	自 430	△ 345	啓発方法変更による減
子ども防犯活動支援	自 255	自 405	△ 150	実績に基づく減
地域防犯支援事業	自 1,868	自 1,378	490	振り込め詐欺対策による増
まちの安全推進事業	自 30	自 30	0	
			0	
			0	
事業費合計	2,238	2,243	△ 5	
内 自主企画事業費	2,238	2,243	△ 5	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

鶴見区内犯罪発生状況（神奈川県警）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域振興 係
	岩田 慶隆	曾我 直樹	佐藤 あゆみ

[鶴見 区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習 文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	-----------------	--------	-------

事業名	地域文化・区民活動推進事業
-----	---------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3,5
33	2

事業評価書番号	21
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,846		88			2,758
前年度	2,836		88			2,748
増△減	10	0	0	0	0	10

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	3,089	2,759	3,331	予算	事業費	2,796	2,796
	メリット+一般財源	3,089	2,759	3,331		一般財源	2,708	2,708
決算	事業費	2,825	2,720	3,209	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	2,825	2,720	3,209	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見区文化協会が主催する区民文化祭への補助金交付等を通じて、区民が文化や芸術に触れる機会を設けるとともに区内の文化活動を推進します。 ・区民の自主的な活動を推進するため、学びや活動のきっかけづくり、活動及び発表の場の提供等、活動の段階に応じた多様な支援を行います。 ・全ての区民が読書に親しめるよう、また様々な課題解決につなげられるよう、身近な施設や多様な団体・区民の力をあわせ、地域全体で読書活動推進の取組を推進します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化活動を行う団体・区民に発表の場を提供するとともに、多くの区民に気軽に文化・芸術に触れる機会を提供する必要があります。 ・多様化する地域課題の解決や地域活性を図るために、区民による自発的な学びや自立した地域活動に対して支援するとともに、活動の担い手の発掘・育成を進めていく必要があります。 ・「鶴見区読書活動推進目標」に基づき、幅広い世代を対象にした取組を進めるとともに、鶴見区らしい多文化共生の視点を取り入れ、地域全体で豊かな読書活動の場を醸成する必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」
3 根拠法令・要綱等	鶴見区民文化祭補助金交付要綱 教育基本法、社会教育法、横浜市生涯学習推進指針、第3次横浜市生涯学習基本構想 横浜市市民協働条例、つるみ区民活動センター要綱、横浜市民読書活動推進計画、 鶴見区読書活動推進目標

【実績の推移・今後見込み】																																										
1 地域文化推進事業	元年度は見込み																																									
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>区民文化祭の来場者数(人)</td> <td>7,979</td> <td>7,483</td> <td>8,399</td> <td>9,500</td> <td>10,000</td> </tr> </table>		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	区民文化祭の来場者数(人)	7,979	7,483	8,399	9,500	10,000																													
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																					
区民文化祭の来場者数(人)	7,979	7,483	8,399	9,500	10,000																																					
2 つるみ区民活動センター事業	元年度は見込み																																									
(1) つるみ区民活動センター利用実績	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">平成26年12月 大規模改修 ミーティングコーナーの縮小 小会議室新設 等</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>645</td> <td>744</td> <td>657</td> <td>531</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>機材貸出</td> <td></td> <td>989</td> <td>615</td> <td>758</td> <td>719</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>ミーティングコーナー利用者</td> <td></td> <td>3,016</td> <td>3,586</td> <td>4,352</td> <td>5,003</td> <td>5,010</td> </tr> <tr> <td>会議室利用者</td> <td></td> <td>632</td> <td>795</td> <td>999</td> <td>929</td> <td>930</td> </tr> <tr> <td>登録団体数</td> <td></td> <td>73</td> <td>80</td> <td>82</td> <td>81</td> <td>85</td> </tr> </table>		平成26年12月 大規模改修 ミーティングコーナーの縮小 小会議室新設 等	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	相談件数	645	744	657	531	540	機材貸出		989	615	758	719	720	ミーティングコーナー利用者		3,016	3,586	4,352	5,003	5,010	会議室利用者		632	795	999	929	930	登録団体数		73	80	82	81	85
	平成26年12月 大規模改修 ミーティングコーナーの縮小 小会議室新設 等			27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																		
		相談件数	645	744	657	531	540																																			
機材貸出		989	615	758	719	720																																				
ミーティングコーナー利用者		3,016	3,586	4,352	5,003	5,010																																				
会議室利用者		632	795	999	929	930																																				
登録団体数		73	80	82	81	85																																				
(2) 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」実績	元年度は見込み																																									
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>登録者・団体数</td> <td>240</td> <td>242</td> <td>222</td> <td>233</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>143</td> <td>158</td> <td>94</td> <td>113</td> <td>120</td> </tr> </table>		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	登録者・団体数	240	242	222	233	240	利用件数	143	158	94	113	120																							
	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																					
登録者・団体数	240	242	222	233	240																																					
利用件数	143	158	94	113	120																																					

【実施内容】	
1 地域文化推進事業	<p>鶴見区民文化祭の開催に対して補助金を交付します。</p> <p>日程：令和2年9月～12月</p> <p>会場：鶴見区民文化センター、鶴見公会堂、鶴見中央コミュニティハウス、鶴見区役所等</p> <p>出展者数：延1,000人</p> <p>来場予定者数：延10,000人</p> <p>主な内容：作品展、音楽・踊り等の発表、小中学校音楽祭・作品展、バザー</p>

- 2 つるみ区民活動センター事業
 区民のニーズや地域の魅力と課題を理解し、地域に密着した地域活動・区民活動等への支援を行うとともに、公的な中間支援組織として、区民利用施設間の連携・協力を促進します。また、生涯学習・社会教育を推進するため、広く区民を対象とした学びの場を提供します。
- (1) 講座・イベント
 - ・生涯学習・社会教育推進講座「つるみMACHI塾」
鶴見区の歴史や文化など、区の様々な魅力を学ぶ講座を実施します。（実施8回）
 - ・市民活動体験講座「つる楽たいむ」
センターの活用促進と市民活動を始めるきっかけづくりを目的に気軽に活動を体験できる講座を実施します。（実施2回）
 - ・市民活動紹介パネル展「鶴魅力」
登録団体の活動を紹介するパネル展を開催します。（実施1回）
 - (2) 区民利用施設間の連携強化
地域における課題を共有し、課題解決に向けた取組を支援していくために、区民利用施設のスタッフ向け研修会や意見交換会を開催して区内の施設間連携を進めていきます。（実施2回）
 - (3) 相談・コーディネート
 - ・生涯学習や区民活動に関する相談・支援
 - ・生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」の派遣相談・コーディネート
 - (4) 登録・情報提供
 - ・市民活動団体の利用登録及び活動紹介
 - ・生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」の登録及び活動紹介
 - ・情報紙「あぶりお」の発行（1,500部×6回発行）
 - ・ホームページの運営
 - (5) その他活動支援
 - ・ミーティングルームコーナーの提供
 - ・会議室の提供
 - ・登録団体への機材貸出
- 3 読書活動
 読書推進に関する講演会や講座を開催します。
 日程：11月予定（つるみ読書講演会）
 2月予定（読書活動推進講座）
- 4 一時託児推進事業
 鶴見区一時託児推進事業に協力していただく保育協力者を新たに養成するため、保育協力者養成講座（3年に1度）を開催します。
 日程：令和2年10～11月頃
 回数：6回程度
 受講予定者数：延べ20人程度

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域文化推進事業	自 1,600	自 1,610	△ 10	
2 つるみ区民活動センター事業	自 996	自 1,026	△ 30	講座回数の変更による減
3 読書活動推進事業	自 200	自 200	0	
4 一時託児推進事業	自 50	0	50	3年ごとに開催
			0	
事業費合計	2,846	2,836	10	
内 自主企画事業費	2,846	2,836	10	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

鶴見区民文化祭活動報告書(H30年度)、鶴見区民文化祭事業収支決算書(H30年度)、横浜市生涯学習事業概要(H30年度)、区民活動センター日報・月報、振り返りシート

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援 係
	岩田 慶隆	風間 梨沙	小宮 翼

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見 区 地域振興 課]

No.	18
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	区民スポーツ振興事業	特記事項 中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号	22
	事業評価 書番号				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,050					1,050
前年度	1,050					1,050
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
		予算	事業費	2,139	2,695	2,239	事業費
決算	メリット+一般財源	2,139	2,695	2,239	一般財源	1,050	1,050
決算	事業費	2,406	2,691	2,232	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年 月) 無		
決算	メリット+一般財源	2,406	2,691	2,232			

事業の概要 (目的)	区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会の実施などスポーツの普及・振興を進めます。
---------------	--

(説明)																																				
1 地域の課題等	【鶴見区体育協会】 子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しめるよう、身近な地域での普及活動を支援する必要があります。																																			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望																																			
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 2「区内経済・活力の向上」																																			
3 根拠法令・要綱等	鶴見区体育協会補助金交付要綱 鶴見区ランニングフェスタ事業補助金交付要綱																																			
【実績の推移・今後見込み】																																				
1 鶴見区体育協会																																				
平成23年6月に団体規約の改正がなされ、事務局機能の強化が進みました。規約の改正に併せて、組織の見直しを行い、各加盟団体による事務作業の分担を進めています。																																				
鶴見区体育協会加盟団体数及びスポーツ大会数																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加盟団体数</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>スポーツ大会数</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>39</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>47 (見込)</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度見込	加盟団体数	24	24	24	24	24	24	24	スポーツ大会数	43	43	39	47	47	47 (見込)	47											
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度見込																													
加盟団体数	24	24	24	24	24	24	24																													
スポーツ大会数	43	43	39	47	47	47 (見込)	47																													
【実施内容】																																				
1 鶴見区体育協会活動経費																																				
(1) 区民スポーツ大会・講習会・教室等の実施 大会・教室等：約40 参加者数：約15,000人																																				
(2) 区民スポーツ奨励賞の贈呈																																				
2 鶴見区ランニングフェスタ開催支援 鶴見区ランニングフェスタ開催を支援するため補助金を交付します。																																				
【事業費の内訳】																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育協会活動経費</td> <td>自：550</td> <td>自：550</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鶴見区ランニングフェスタ</td> <td>自：500</td> <td>自：500</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>1,050</td> <td>1,050</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 自主企画事業費</td> <td>1,050</td> <td>1,050</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訳 重点事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	体育協会活動経費	自：550	自：550	0		鶴見区ランニングフェスタ	自：500	自：500	0					0		事業費合計	1,050	1,050	0		内 自主企画事業費	1,050	1,050	0		訳 重点事業	0	0	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																
体育協会活動経費	自：550	自：550	0																																	
鶴見区ランニングフェスタ	自：500	自：500	0																																	
			0																																	
事業費合計	1,050	1,050	0																																	
内 自主企画事業費	1,050	1,050	0																																	
訳 重点事業	0	0	0																																	
【根拠とするデータ等】																																				
鶴見区体育協会収支決算報告書、鶴見区体育協会加盟団体事業報告書 鶴見区ランニングフェスタ事業実績報告書																																				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩田 慶隆	係長 奥村 晃一	区民活動支援 係 平松 慶子
--------------------	-------------	-------------	-------------------

[鶴見 区 地域振興 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名	青少年健全育成事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書番号	23
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,013					2,013
前年度	2,013					2,013
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度		令和4年度
予	事業費	4,645	4,165	4,645	2,013	2,013	
算	メリット+一般財源	4,645	4,165	4,645	2,013	2,013	
決	事業費	4,640	4,058	4,469	方針に関する決裁種別()		
算	メリット+一般財源	4,640	4,058	4,469	有:件名()、日付(年月)		

事業の概要(目的)	<p>青少年の健全育成を図る団体に対し補助金を交付し、鶴見区における青少年の健全育成を推進します。</p> <p>また、地域社会の中に青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、青少年育成に対する地域の輪を広げる取組を実施します。</p>
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

昨今、社会環境の変化によって、青少年が地域の大人や異世代と交流することや、様々な体験活動をする機会が減少しており、関係性の喪失や体験不足が懸念されています。そのため、多様な人との関わりの中で、自主性やコミュニケーション能力、自己肯定感を育み、青少年が自らの生き方を考え、進路選択する力を身に付けられるよう、地域全体で青少年を育む環境を整えることが必要です。

また、青少年を取り巻く課題に対し、地域の中で早期発見・早期支援を実現するために、青少年育成に関わる人材の育成を支援するとともに、青少年が安心して過ごせる居場所の創出や、学校、家庭、地域、活動団体、行政の連携を強化することが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係 令和元年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等 鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金交付要綱、鶴見区子どもサマーキャンプ補助金交付要綱、つるみ子育て・個育ちフォーラム事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】								
年度	25	26	27	28	29	30	見元(見込み)	見元(見込み)
サマーキャンプ参加者	53	50	53	63	62	60	60	60
子育て・個育ちフォーラム来場者	約1600	約2500	約2500	約2500	約2500	約2500	約2500	約2500
サイエンス交流事業参加者	144	103	150	47	70	70	70	70

【実施内容】

1 青少年交流活動推進事業

(1) 鶴見区子どもサマーキャンプ
区内の中高生からなるジュニアリーダーによる地域の青少年交流活動の促進を目指し、区内小学生とジュニアリーダーがキャンプ等の交流の機会を通して、互いに成長する機会を創ります。
実施時期：令和2年7月～8月

(2) 青少年育成サイエンス交流事業
横浜サイエンスフロンティア高校と連携し、小学生対象の科学教室を開催し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢交流により、ともに育ち合う機会を創ります。
実施時期：令和2年8月～12月

2 つるみ子育て・個育ちフォーラム支援事業
「つるみ子育て・個育ちフォーラム」(年1回)の開催に向け、区内の青少年に関わる団体・機関からなる運営委員会に対し補助金を交付します。
実施時期：令和2年11月

<関係団体機関名>
鶴見区自治連合会、鶴見区青少年指導員協議会、鶴見区子ども育成会連絡協議会、鶴見区主任児童委員連絡会、鶴見少年補導員連絡会、鶴見区子育て支援者会、鶴見区PTA連絡協議会、鶴見区更正保護女性会、鶴見区社会福祉協議会、横浜市鶴見図書館、放課後児童クラブ、区内公立保育園、鶴見区食生活等改善推進委員会、鶴見区民生委員児童委員協議会、鶴見区子育て支援拠点「わっくんひろば」、鶴見区保育ボランティア連絡会、鶴見区子育て教育懇談会、横浜きた・おやこ劇場、知的障害者親の会「ひよこ会」、劇団「ポケット」、つるみプレーパーク、つるみどりプロジェクト、鶴見けん玉クラブ、遊びの島、老人クラブ会、鶴っこショップ、音色座、区民有志

3 青少年の居場所運営支援事業

民間主体の居場所実施の取組に対し補助金を交付し、支援します。

【令和元年度実績：5箇所】別所自治会文化部：熊神で遊ぼう（熊野神社）、つるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会：子どもと若者のひろばアソVIVA！（寺尾地区センター、潮田公園コミュニティハウス、末吉地区センター）、特定非営利活動法人サードプレイス：地区センカフェ（寺尾地区センター）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度		前年度		差引	説明
青少年交流活動推進事業	自	763	自	763	0	
つるみ子育て・個育ちフォーラム支援事業	自	650	自	650	0	
青少年の居場所運営支援事業	自	600	自	600	0	
					0	
					0	
					0	
事業費合計		2,013		2,013	0	
内 自主企画事業費		2,013		2,013	0	
内 重点事業		0		0	0	

【根拠とするデータ等】

鶴見区子どもサマーキャンプ報告書、青少年育成サイエンス交流事業報告書、第17回つるみ子育て・個育ちフォーラム報告書、平成30年度青少年の居場所づくり活動補助金審査会資料

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援 係
	岩田 慶隆	奥村 晃一	滝元 美咲

[鶴見 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
つるみDE子育て応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	2
23	3
23	4

事業評価書番号	24
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,315					3,315
前年度	3,465					3,465
増△減	△ 150	0	0	0	0	△ 150

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	5,079	4,456	3,739	予算	事業費	3,315	3,315
	メリット+一般財源	5,079	4,456	3,739		一般財源	3,315	3,315
決算	事業費	3,818	3,024	2,320	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	3,818	3,024	2,320	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	「地域の子育て支援」を充実させ、家庭・地域の育児力を高めます。
-----------	---------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

- ・核家族化が進み地域のつながりが希薄化する中、鶴見区は子育て世代の転入も多く、子育ての不安を抱える妊婦・母親が増加しています。また、育児経験が乏しく、インターネット等の情報が氾濫していることも不安を助長しています。そのため、子育ての相談・学習する機会を作り、地域で子育てを支援する「人」や「場所」とつなげ、孤立化予防・子育ての不安を軽減していくことが重要です。
- ・鶴見区は出生数及び就学前児童数が市内で2番目に多く、保育所定員数も市内で2番目に多い状況です。また、待機児童及び保留児童を抱えている状況でもあります。幼稚園や地域給付型事業等の利用希望をする方の申請が増えることが予想されており、区民へ確実に情報を届ける必要があります。
- ・鶴見区は市内で2番目に外国籍の居住者が多い区です。保育園の入園児、その保護者にも外国籍の方が多く、平易な概要については理解していただけても、制度の詳細や具体的な手続きの説明が困難な場合が多くある状況です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度		
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」			
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、子ども・子育て支援法			

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	R元年度見込み	R2年度見込み
育児教室	7,288人	6,168人	5,858人	6,200人	6200人
こん赤 訪問率	95.0%	94.0%	94.0%	95.0%	95.0%

【実施内容】

- 1 地域育児教室
区内21か所で、原則第1子の0歳児とその保護者を対象に、月1回程度開催しています。(200回予定) 栄養士や歯科衛生士、消防士等を講師としての学習や、仲間づくりを通して育児不安の軽減を目指します。
- 2 親子の居場所
親子が気軽に立ち寄れるふらっとる一むと連携し、地域の中での親子の居場所活動を充実させていきます。
- 3 子育て応援情報冊子作成
子育て関連施設などの情報を広く発信するため、印刷物を作成・配布します。また、今年度は地域子育て支援拠点「わっくんひろば」と区役所が連携を取り、利用者に対してより分かりやすい情報提供を行います。
- 4 多言語窓口子育て事業
外国籍の区民に丁寧な案内ができるよう、申請書類の外国語版記入例や、区で作成している配布用ちらし、手紙等の外国語版等を作成します。
- 5 区長表彰事業
スポーツ・文化の分野において活躍した学生を区長が表彰することで、鶴見区におけるスポーツ・文化活動を啓発する事業です。
- 6 放課後児童健全育成事業
放課後児童の居場所をより安全、安心、居心地の良い場所にするため、放課後児童健全育成事業に従事している職員に対し研修を行うことで、知識の習得及び意識の向上を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域育児教室	自 909	自 899	10	増税による使用料増
親子の居場所普及事業	自 59	自 59	0	
こんにちは赤ちゃん訪問事業	自 0	自 100	△ 100	印刷物見直しによる予算削減
子育て応援冊子作成	自 1,330	自 1,410	△ 80	印刷物削減による印刷製本費減
多言語窓口子育て支援事業	自 423	自 403	20	言語の増
区長表彰事業	自 294	自 294	0	
放課後児童健全育成事業	自 300	自 300	0	
事業費合計	3,315	3,465	△ 150	
内 自主企画事業費	3,315	3,465	△ 150	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

こども青少年局職員研修講師支払基準、H29・H30実績値

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭 係
	御小柴 朋子	那須 康二	松尾 泰志

(鶴見 区 - 20)

[鶴見 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
つるみの未来を育てる保育所事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	3

事業評価書番号	25
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,800					3,800
前年度	3,552					3,552
増△減	248	0	0	0	0	248

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	3,049	3,531	3,606	予	事業費	3,800	3,800
算	メリット+一般財源	3,049	3,531	3,606	算	一般財源	3,800	3,800
決	事業費	2,099	2,520	2,311	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無()			
算	メリット+一般財源	2,099	2,520	2,311				

事業の概要(目的)	保育所に係る園児、職員及び未就学園児等を支援する事業を展開します。
-----------	-----------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	<p>1. 保育所等の利用定員と保育士不足の現状 鶴見区内の保育所等では、保育士が確保できないことを理由に、利用定員まで児童を入所できていない施設が複数ある。子ども青少年局においても、保育士確保策として複数の事業を展開しているが、抜本的な解決には至っていない状況である。待機児童対策として、保育所等の新規整備を進める一方で、既存施設を最大限に有効活用する必要がある。</p> <p>2. 外国籍の保護者・児童の状況 鶴見区は市内で2番目に外国籍の居住者が多い区である。保育園の入園児、その保護者にも外国籍の方が多く、平易な概要については理解していただいても、具体的な手続き、事業の説明には困難がある。また、一時保育や園児学に来る外国籍の方について説明を行う際にも理解が行き届いていない様子が多く見受けられる。</p> <p>3. 保育所資源の活用状況と質の向上 市立保育所を活用したネットワーク事業における育児支援イベントによる保育所資源の活用のほか、保育所では入所児童以外を対象として、園庭開放や育児相談等地域支援事業を各種展開しているが、継続した支援が難しいことや、参加者数の更なる増加が望ましい。 また、鶴見区は配慮を必要とする園児の入所が多く、市立、私立を問わず、どの保育園においてもその対応が課題となっている。このような状況のなか、受入側の保育所職員の質の高い保育の提供が求められている。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」「横浜市認定子ども園及び保育所地域子育て支援事業実施要綱」「横浜市認定子ども園及び保育所地域子育て支援事業実施要領」「鶴見区保育士確保推進モデル事業補助金交付要綱」
------------	--

【実績の推移・今後見込み】	
1. 保育士確保推進モデル事業	<p>鶴見大学と区の包括連携協定に基づく事業として、学生をアルバイトとして雇った認可保育園に対して、雇用費用の2分の1を支払ってきた。これは、区内保育所が学生アルバイトを受け入れやすい環境をつくることで、保育士を目指す学生が保育現場で実務経験を積むことができるほか、区内施設への就職を視野に入れてもらうことを期待するものであった。しかし、本事業開始から4年目となるが、就職につながる実績を安定的に創出することができていないため、本事業の見直しを行う。</p> <p>【参考】当該学生が受入れ先施設へ就職した実績人数/本事業を活用した学生の人数 平成28年度：1人/5人 平成29年度：0人/9人 平成30年度：0人/10人</p>
2. 保育所多文化共生事業	<p>本市の外国人人口は平成31年4月で10万人を突破し、5年間で3割増加しており、平成30年12月の入管法の改正に伴い、今後さらなる増加が見込まれる。一方で市全体の人口は2019年をピークに減少に転じることが見込まれているため、外国人人口割合は今後増加していくことが想定され、円滑なコミュニケーションの確保および多文化理解への取組については、より取組を強化する必要がある。</p>

3. 保育所資源活用事業

入所児童以外を対象として行う園庭開放では、継続した支援を行うためにさらなる充実を図る必要がある。

【参考】園庭開放実施回数（平成28年度：376回、平成29年度：418回、平成30年度：403回）

4. 図書を活用した地域子育て支援事業

平成26年4月より、「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が施行され、それに基づき「横浜市民読書活動推進計画」が策定された。子育て中の親子にとっての読書に触れられる場所として保育所は今後より一層活用していく必要がある。

【参考】お話し会等実績（平成28年度：263回、平成29年度：248回、平成30年度：228回）

絵本等貸し出し実績（平成28年度：3,903冊、平成29年度：48,117冊、平成30年度：6,799冊）

【実施内容】

1. 保育士確保推進事業

鶴見大学との包括連携協定を活かし、大学のカリキュラムにおいて保育施設での現場実習を要するものがあれば、その受入れ先として区内保育施設を優先的に活用してもらえよう大学へ打診する。また、学生が就職活動を本格的に始める時期など、効果的なタイミングを狙い、学内で実施される就職ガイダンス等において、区内保育施設の魅力をPRする広報物の配布やプレゼンテーションを行う。

2. 保育所多文化共生事業

市立保育所では、多文化理解のために児童向け多文化冊子を作成し、民間保育所とも共有することで、保育に役立ててもらおう。さらに、多文化理解につながる研修を実施する。

また、保育所申請時に多言語の記入例等を配布することにより、外国籍の入所希望者にとって、すみやかな申請手続きをめざす。

3. 保育所資源活用事業

ア 保育所園庭開放の充実

内容：保育所施設や人材を生かして地域の子育て支援に取り組む。園庭開放時の有償ボランティアについては、区配予算に区づくり予算を上乗せすることで、継続的な支援を行い、育児支援の充実を図る。また、育児講座や交流保育実施時にもボランティアを依頼する。

対象：区内未就学児
会場：市立4保育所

イ 保育所地域ふれあい事業

内容：市立保育所の園庭で花や野菜を育てる。収穫した食材を用いたランチなどを通して、地域の方との交流を行う。
スケジュール：市立保育所1園あたり年2～4回程度

4. 保育・教育施設職員研修事業

内容：体育指導員による幼児期に必要な動きなどを学ぶ研修及び配慮を必要とする園児への理解と対応について学ぶ研修を実施する。

対象：区内認可保育所、横浜保育室、認可外保育施設、地域型保育事業、幼稚園の職員等

5. 図書を活用した地域子育て支援事業

内容：市立保育園を活用した地域への絵本貸出
市立保育士による読書関連イベントの実施

対象：区内未就学児等

6. 鶴見区保育所一覧・マップ等作成

内容：局から配付される横浜市保育所等利用案内に加え、鶴見区内の保育所等の一覧及びマップを配布する。

対象：区内の保育所等利用申請者等

参考：直近3年の保育所等利用申請者数（平成29年度：6,428人 平成30年度：6,649人 平成元年度：6,945人）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保育士確保推進事業	自 310	自 317	△ 7	モデル事業終了による減
保育所多文化共生事業	自 780	自 448	332	多文化冊子作成等による増
保育資源活用事業	自 785	自 935	△ 150	工事に伴い園庭開放不可による減
保育・教育施設職員研修事業	自 317	自 317	0	
図書を活用した地域子育て支援事業	自 400	自 360	40	絵本等充実のための増
鶴見区保育所一覧・マップ等作成	自 1,208	自 1,175	33	施設数、申請者数の増加に伴う増
事業費合計	3,800	3,552	248	
内 自主企画事業費	3,800	3,552	248	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

アルバイト賃金単価表、有償ボランティア配置実績（H30）、お話し会・絵本等貸出実績（H30）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	岩田 聡	長谷川 文	相澤 春佳

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成26年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	鶴見区虐待予防事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	1

事業評価書番号	26
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,647					2,647
前年度	2,774					2,774
増△減	△ 127	0	0	0	0	△ 127

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,461	1,469	1,397	予	事業費	2,647	2,647
	メリット+一般財源	1,461	1,469	1,397	算	一般財源	2,647	2,647
決算	事業費	1,126	1,334	1,385	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
算	メリット+一般財源	1,126	1,334	1,385				

事業の概要(目的)	子育てに関する負担や不安を軽減し、児童虐待の予防を目指します。
-----------	---------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

全国的に児童虐待に関する相談が増加しており、鶴見区でも同様に年々増加しています。その背景には、身近な相談者がいない養育者が増えていることや、インターネット等で氾濫する情報を的確に選択し子育てしていくことが難しくなっていることもあげられます。鶴見区でも、子どもの成長に応じた対応に苦慮し、「しつけの仕方がわからない」「子育てにイライラしてしまう」などの声が多く聞かれています。こうした子育ての大変さから、怒鳴る・叩く等の虐待につながることも多く見られるため、子どもとの関わり方やしつけの仕方についての工夫を伝えたり、個々に寄り添った相談をしていくことが必要です。また、子どもや家庭を取り巻く問題が多様化する中で、専門的な相談を行うことも必要となっています。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度
-------------	----------

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 3「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	---------------------------------

3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律
------------	----------------------------

【実績の推移・今後見込み】

<講座の参加者数>

	回数	H29年度実績	H30年度実績		R元年度見込み	R2年度見込み
講し座つけ	1	10人	8人	出張講座	全7回	全7回
	2	10人	10人		100人	100人
講2演歳会児	1	26人	20人	講子演育会て	22人	25人
	2		27人		25人	25人

<専門家相談>

	H29年度実績	H30年度実績	R元年度見込み	R2年度見込み
臨床心理士	42回	42回	42回	42回
	64人	72人	84人	84人
精神科医	6回	6回	6回	6回
	13人	9人	18人	18人
弁護士	8回	8回	8回	8回
	20人	21人	24人	24人

【実施内容】

子育て中の親の不安を軽減し、虐待予防につなげるために、出張講座や専門家相談を実施します。

- 親支援講座
 - 出張講座：【対象】0～3歳児の保護者 【内容】子育ての工夫を伝える講座
【会場】子育て支援拠点等の身近な会場 年7回
 - 子育て講演会：【対象】1歳6か月～2歳児の保護者
【内容】発達の節目の時期に子どもの成長に合わせた対応を伝える 年2回
 - スキルアップ研修：【対象】子育て支援者、子育て支援拠点スタッフ等の支援者 年1回

様式3-1

2 専門家相談

- ・臨床心理士 年4 2回 子育て中の親の相談
- ・精神科医 年6回 精神疾患に関連する相談等
- ・弁護士 年8回 DV相談に関連する法律相談

3 虐待防止小中学校出張講座

学校についてはこれまで要望に応じて行う方法でしたが、地域や学校と連携する方法に変更し、継続していきけるような講座の展開を検討していきます。

また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭などを対象に研修会を実施します。

- ・小学校：2校 【内容】命の授業 赤ちゃんふれあい体験
- ・中学校：2校 【内容】性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること
- ・思春期に関する研修会 【対象者】生徒指導専任教諭・養護教諭など 年1回

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
親支援講座	自	646	自 699	△ 53	会場変更にもなう人員数及び回数の見直しによる減
専門家相談	自	1,650	自 1,650	0	
虐待予防小学校出張講座	自	101	自 75	26	講師を依頼することによる増
緊急対応	自	250	自 350	△ 100	購入備品の見込み金額による減
				0	
事業費合計		2,647	2,774	△ 127	
内 訳	自主企画事業費	2,647	2,774	△ 127	
	重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

子ども青少年局職員研修講師謝金支払基準、鶴見区一時託児推進事業実施要領、H30, R元年実績値

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	御小柴 朋子	齊藤 尚子	相澤 春佳

[鶴見 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	鶴見・あいねっと推進事業
-----	--------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1, 2
16	2

事業評価書番号	27
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,984					2,984
前年度	2,935					2,935
増△減	49	0	0	0	0	49

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,631	1,513	1,415	予算	事業費	1,600	1,600
	メリット+一般財源	1,631	1,513	1,415		一般財源	1,600	1,600
決算	事業費	938	986	835	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	938	986	835	有:件名()、日付(年月)			

無

事業の概要(目的)	鶴見・あいねっと(地域福祉保健計画)」を推進し、健康で住みやすい福祉のまちをつくります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	鶴見区は転入や出生による人口増加が続き、地域との関わりが希薄な住民が増えています。また、鶴見区では長年に渡り、様々な地域での福祉保健活動が活発に行われてきましたが、これまで積み重ねてきた活動の後継者となる、地域活動の担い手の不足が深刻化しています。しかしながら、望ましい将来像として「安心・安全」「子どもから高齢者、障害者など全ての人にやさしいまち」を志向する区民が多いため、様々な保健課題や地区特性に合わせて区民と行政との協働をすすめ、地域のつながりを再構築する必要があります。
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度 4 地区懇談会 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 1「地域力の強化」
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法、「鶴見・あいねっと推進委員会運営要綱」

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
地区でのあいねっと活動参加者数(人)	3,846	4,005	4,911	5,032	5,000	5,000
あいねっと推進組織との連携(回)	107	104	131	109	130	130
推進フォーラム参加者数(人)	550	470	372	351	500	500

【実施内容】

■地区別計画推進

1. 地区懇談会等で地区の声を反映した第3期地区別計画(28年4月~33年3月)の周知や計画が具体的に推進できるよう、地区の状況にあわせた支援を行い、区民との協働による解決を積極的に進めます。
2. 地区別支援チームに対し、地域の実情に合わせた活動支援のための研修や助言者によるアドバイス等を行い、メンバーのスキルアップを図ります。
3. 第4期地区別計画の策定に向け、地区フォーラム等を開催し、内容の検討、計画の策定を行います。

■区全体計画推進・第3期区計画の周知、第4期区計画の策定検討

1. 鶴見・あいねっと推進委員会を開催し、区全体としてのあいねっとの推進方針について協議します。
2. 区域全体の福祉保健活動の啓発と促進のため、区社協・地域ケアプラザ・区民と協働し「推進フォーラム」を開催します。
3. 区社協、地域ケアプラザ、区内活動団体等と連携し、第3期区計画の周知や具体的な取組につなげます。
4. 第4期区計画の策定に向け、検討委員会を開催し、内容の検討、計画の策定を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地区別計画推進	自 441	自 395	46	第4期地区別計画策定
区全体計画推進	自 2,543	自 2,540	3	第4期区計画策定
事業費合計	2,984	2,935	49	
内 自主企画事業費	2,984	2,935	49	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

実績を根拠として作成。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 市川 裕章	係長 櫻井 佑樹	事業企画担当 係 政木 優子
--------------------	-------------	-------------	-------------------

[鶴見 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	ヘルスアッププラン
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2

事業評価書番号	28
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,027					4,027
前年度	2,496					2,496
増△減	1,531	0	0	0	0	1,531

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,799	1,752	2,268	予算	事業費	1,857	1,857
	メリット+一般財源	1,799	1,752	2,268		一般財源	1,857	1,857
決算	事業費	1,337	1,634	1,786	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,337	1,634	1,786				

事業の概要(目的)	区民の平均自立期間(日常生活に介護を要しない期間の平均)を延ばすため、区民が意識的に健康づくりに取り組めるよう健康に関する講座や啓発等を行います。また、それらの取り組みを区内の民間企業・関係団体等と連携し行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

以下のことから生活習慣病やその予防、健診等の制度について、啓発や健康づくり活動の支援を進める必要がある。

- ・鶴見区は平均自立期間(H28年)が市内では男性も女性も短い。
男性 78.24歳(市内15位) 女性 81.85歳(市内17位)
- ・全国の死亡数を基準とした標準化死亡率SMR(H24~28年)では、男女ともに、生活習慣病に関わる死亡が高くなっている。
男性…急性心筋梗塞、心不全、脳血管疾患、脳内出血、食道癌、結腸癌、直腸癌、肝癌、肺がん
女性…心不全、脳血管疾患、脳内出血、脳梗塞、肺癌、乳癌
- ・横浜市国民健康保険加入者の鶴見区の特設健診受診率(H29年度)は20.8%と低い。
- ・横浜市国民健康保険加入者で特設健診受診者の結果分析(H28年度分 60歳代対象)では、鶴見区は男女ともにBMIの平均が市内で一番高く、血圧も男女ともに一番高い。また、HbA1cの平均値も、男性(1位)女性(2位)ともに高く、また喫煙習慣のある人の割合や、就寝に前2時間以内に夕食を取る割合も男女ともに高い。生活習慣病予備軍が多いことが危惧される。
- ・横浜市がん検診受診率(H30年度)では、乳癌17.9%(市18.6%)、大腸癌12.8%(市12.8%)、肺癌8.1%(市10.0%)と市と同様に低い。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	5 区民アンケート	4 地区懇談会
-------------	----------	-----------	---------

2 運営方針等との関係 令和元年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等 健康増進法「健康日本21(第2次)」 「第2期健康横浜21」

【実績の推移・今後見込み】

単位：人	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	
親子歯つびい講座	528	449	444	600	480	R2より回数減
幼児の食育講座	140	161	205	240	240	
食育ミニ講座	2,744	2,569	1,632	2,500	2,500	H27より区づくりで事業拡大
離乳食教室	355	338	265	480	480	

【実施内容】

1. 生活習慣病予防

①子育て世代への健康啓発
子ども家庭支援課と連携し子育てサロン等の場で、保護者向けに生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を行います。また健康測定機器を用いた健康チェックを行うとともに、これら機器の修繕を行います(必要時)。

②運動普及啓発
区民が普段の生活に無理なく運動を取り入れられるよう、媒体を活用し啓発を行います。

2. Come Come (噛む噛む) 元気大作戦!

①親子わくわく歯っぴい講座 (年12回 各回20組)

歯が生え始めた児とその保護者を対象に、むし歯予防や歯磨き方法についての講座を行います。保護者の歯周病リスクチェックも行います。

②歯周病・オーラルフレイル予防等啓発

歯と口の健康週間イベントや両親教室等の機会に歯周病やオーラルフレイルについて啓発を行います。また内科医療機関や歯科医院、薬局にご協力いただき、歯周病と糖尿病の関係および歯周病検診と健康診断の受診勧奨を啓発するためのポップを作成し掲示します。

③鶴見大学・歯科医師会連携事業

区民が歯の健康についての知識を持ち、適切な歯磨き習慣を持てるよう、区のマスコットであるワックンが登場する物語を鶴見大学の協力のもと作成し、データを区HPで閲覧やダウンロードができるようにします。また見本として製本版も作製し、保育所や小学校等に配架します。さらに、これらの周知チラシを乳幼児健診や歯と口の健康週間イベント等で配布します。

3. 食育事業

①食育研修会および食育イベント

食育月間や区内スーパーと連携したイベントで、食育に関する啓発を行います。また食育に携わる関係者を対象に研修を行います。

②幼児の食育講座 (年6回 各回20組)

1、2歳の幼児と保護者を対象に、適切な食事や食習慣についての講座を行います。

③食育ミニ講座 (3歳児健診の年36回)

3歳児健診の場を活用し、食育ボランティア (げんき号) が子どもと保護者にバランスのとれた食事について啓発を行います。

④離乳食教室 (12回)

出生数が多く、区配 (12回) だけでは対応できないため、上乘せ (12回) で離乳食教室を実施します。

4. 健康づくり推進会議

区内の民間企業・関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため、健康づくり推進会議を実施します。また、臨海フェスティバルを活用し、健康づくり推進会議の取り組みを啓発します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1. 生活習慣病予防	重 431	自 1,202	△ 771	血圧計購入終了による減
2. Come Come (噛む噛む)	重 2,921	自 667	2,254	絵本作成等による増
3. 食育事業	重 547	自 514	33	
4. 健康づくり推進会議	重 128	自 113	15	
			0	
			0	
事業費合計	4,027	2,496	1,531	
内 自主企画事業費	4,027	2,496	1,531	
訳 重点事業	4,027	0	4,027	

【根拠とするデータ等】

健康横浜21第2期中間評価報告、健康に関する市民意識調査28 (横浜市)、区別がん検診結果 (H30)、第2期横浜市国民健康保健事業実施計画 (データヘルス計画)、横浜市国民健康保険加入者の特定健診データ (H28年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	市川 裕章	河内 裕夏	岡安 佐知子

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見 区 福祉保健 課]

No.	25
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費 地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・課題区分	防災 高齢者 障害児・者	事業開始年度	平成17年度
------	---------------------------------------	---------	--------------------	--------	--------

事業名	「広げよう見守りの輪」推進事業
-----	-----------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	35	6

事業評価書番号	29
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	968					968
前年度	2,025					2,025
増△減	△1,057	0	0	0	0	△1,057

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予算	事業費 3,993	2,993	1,238	予算	事業費 968	968
	メリット+一般財源 3,993	2,993	1,238		一般財源 968	968
決算	事業費 1,769	1,453	1,413	方針に関する決裁 種別()		
決算	メリット+一般財源 1,769	1,453	1,413	有:件名()、日付(年月)		

事業の概要(目的)	ひとり暮らし高齢者や災害時要援護者など支援を必要とする人に対し、日常的な見守りや訪問活動を充実させることにより、顔の見える関係づくりを進め、緊急時・災害時に地域で支えあう見守り体制の醸成を図る。また、災害時に自力での避難が困難な要援護者の避難支援体制を強化を図る。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	鶴見区の高齢化率は21.1% (平成31年3月31日現在) と年々高くなっており、核家族化が進み単身高齢者の数も増加している。町内会加入率も減り、地域の住民同士のつながりも希薄化している。このような状況の中、孤独死・孤立死の問題や、地域での支え合い機能の弱体化など、必要な人に対して適切な支援が届かないことが危惧される。特に、災害発生時の避難行動などに対応することが難しく、その後の生活に様々な困難が予想される高齢者や障害者等(災害時要援護者)に対しては、地域における支援体制の充実を図る必要がある。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 1 「地域力の強化」
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法第107条、災害対策基本法、震災対策条例

【実績の推移・今後見込み】				
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み
定期訪問・見守対象者	3,524人 (H29.3)	3,387人 (H30.3)	3,345人 (H31.3)	約3,500人
災害時要援護者名簿登載者数	約5,800人	約6,300人	約6,800人	約7,100人

【実施内容】	
訪問員(民生委員等)を支援するために、高齢者に対し訪問や見守り活動を行うためのきっかけを作れるように、訪問時に持参する配付物等を作成する。 区役所から民生委員又は自治会町内会に災害時要援護者名簿を提供し、地域における平時からの関係づくりや災害時の安否確認、避難支援などに活かしていただけるようにする。	

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
見守り・定期訪問活動	自 368	自 1,058	△ 690	事業見直しによる減
災害時要援護者支援	自 600	自 967	△ 367	購入物品不要による減
事業費合計	968	2,025	△ 1,057	
内訳	自主企画事業費 968	2,025	△ 1,057	
	重点事業 0	0	0	

【根拠とするデータ等】	
定期訪問・見守対象者数実績(平成28年度～平成30年度)	
災害時要援護者名簿登載者数実績(平成28年度～平成30年度)	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 市川 裕章 坪山 清美	係長 櫻井 佑樹 古角 朋彦	事業企画担当、高齢・障害係 係 武藤 旭洋 藤本 加奈子
--------------------	----------------------	----------------------	------------------------------------

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[鶴見 区 福祉保健 課]

No.	26
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成21年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	感染症対策事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	5

事業評価書番号	30
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	433					433
前年度	417					417
増△減	16	0	0	0	0	16

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予 算	472	417	758	予 算	433	433
メ リ ッ ト ナ ー 般 財 源	472	417	758	算	一般財源	433
決 算	249	361	734	方針に関する決裁 種別()		
メ リ ッ ト ナ ー 般 財 源	249	361	734	有:件名()、目付(年月)		
				無		

事業の概要(目的)	感染症について関係機関への啓発及び連携を深めることにより、感染症の拡大防止を図ります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	感染症は、不適切な対応や報告の遅延が、拡大や集団発生を引き起こす危険性があります。そのため、感染症についての知識の啓発と発生時の対応について、区民や関係機関に研修や通知を通じて知ってもらい、連携をとる必要があります。また、新型インフルエンザについても、区職員が健康危機への適切な対応ができるよう、研修及び対応訓練により発生時に備える必要があります。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	8 その他

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 市内特別養護老人ホーム等における横浜市感染症対策指導者養成研修事業実施要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】
施設等からの感染症集団発生報告書や対応を振り返ると、感染拡大の背景には、従事職員の感染症への不十分な知識や、初発発生時の対応の不備等が散見されています。そのため、対応に必要な知識や手技についての啓発が必要です。
また、新型インフルエンザや重篤な新興感染症の国内発生時に適切に対応できるよう、区の体制の確認や平常時から訓練が求められています。

【実施内容】
1. 感染症対策
①区内施設向け啓発（資料送付 8月）
高齢者施設や学校、保育施設等を対象に、集団発生を起こしやすい感染症の知識や対応方法、報告の仕方についてお知らせします。
②感染症対策指導者養成研修（研修 年2回）
高齢者施設や学校、保育施設等を対象に、集団発生を起こしやすい感染症の知識や対応方法について、嘔吐物処理や手洗い実習を交えて研修を開催します。
2. 新型インフルエンザ等対策
①啓発と備蓄（通年）
新型インフルエンザや新興感染症についてパンフレットを用いて啓発します。また、新型インフルエンザ等行動計画に基づきマスク等の備蓄の更新を行います。
②区職員向け研修および訓練（年1回）
新型インフルエンザ等の発生に備え、発生時の職員対応について、研修と庁舎活用訓練を行います。
③他機関との連携（年1回）
臨海3区（川崎市川崎区、東京都大田区、横浜市鶴見区）と感染症連絡会を行うことで、新興感染症等に対する連携強化を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1. 感染症対策	自 243	自 229	14	
2. 新型インフルエンザ等対策	自 190	自 188	2	
			0	
事業費合計	433	417	16	
内 自主企画事業費	433	417	16	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
感染症法に基づく届出状況、衛生研究所感染症情報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 市川 裕章	係長 河内 裕夏	健康づくり係 岡安 佐知子
--------------------	-------------	-------------	------------------

[鶴見 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業
-----	-------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	31
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	678	0	0			678
前年度	1,017	0	0			1,017
増△減	△ 339	0	0	0	0	△ 339

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	926	1,426	500	予	事業費	478	478
算	メリット+一般財源	926	1,426	500	算	一般財源	478	478
決	事業費	1,455	1,149	410	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	1,455	1,149	410	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めていきます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	鶴見区における障害者手帳の所持者数は毎年増加していると同時に障害福祉制度が多岐にわたり、支援の方法も個々のケースにあったものと考えていく必要があります。また、高齢化や複雑な家庭環境など支援が難しい案件が増えており、障害福祉分野の人材不足も課題となっています。そのため、障害児者団体や関係機関がネットワークを構築し、情報を共有しながら支援を行うことが求められます。また、困難事例に対応していくためには、専門職の知識や技術の向上にも取り組む必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」
-------------	----------------------------------

3 根拠法令・要綱等	障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法
------------	------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】
 事業への関係機関の参加数が増える。
 区内の障害児・者にかかわる区役所及び関係機関の職員の知識・技術の向上が図られる。
 障害特性に対する理解が進み、障害福祉への関心が高められる。

【実施内容】

- 障害者地域生活支援事業：障害者支援の仕組み・ネットワークを当事者や関係機関とともに構築します。
 (1) 鶴見区地域自立支援協議会の推進：代表者会議年1回、担当者会議年2回、専門部会隔月開催
 各専門部会や担当者会議の場を活用し、事例検討や専門知識を持った講師による研修等を実施することで、部会等に参加する関係機関職員等の知識・技術の向上を図ります。
- 障害理解の推進：障害者週間に合わせたイベントの実施や福祉施設の自主製品等のPR、障害特性を知るための情報を提供すること等により、区民の意識啓発に繋がります。
- 専門職のスキルアップ研修の実施：専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を身に付けるための研修を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
障害者地域生活支援事業	自 678	自 1,017	△ 339	冊子改訂完了による費用の減
			0	
			0	
事業費合計	678	1,017	△ 339	
内 自主企画事業費	678	1,017	△ 339	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
 前年度実績による

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 坪山 清美	係長 岡部 智明	障害者支援担当 係 宮本 裕子
--------------------	-------------	-------------	--------------------

[鶴見 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名
鶴見区高齢者はつつ生活応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
16	1、4
17	2、4

事業評価書番号	32
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,840					1,840
前年度	1,963					1,963
増△減	△ 123	0	0	0	0	△ 123

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,436	1,273	1,565	予算	事業費	1,840	1,840
	メリット+一般財源	1,436	1,273	1,565		一般財源	1,840	1,840
決算	事業費	1,438	1,438	1,144	方針に関する決裁 種別() 右:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,438	1,438	1,144				

事業の概要(目的)	高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、介護予防事業を進めます。特に、前フレイル期にあるオーラルフレイルに注目し、歯科受診勧奨やフレイル予防について個別通知を行います。また、認知症になっても、本人の意思が尊重され地域で暮らし続けることができるよう、認知症についての普及啓発や予防を進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
 鶴見区の65歳以上の高齢者数は約6万1千人(H30.1月 市内第5位)、平成27年から平成37年の10年間における75歳以上の人口の増加数・増加率はともに18区中市内で最も増加すると予測されています。横浜市高齢者一般調査「健康とくらしの調査」では、鶴見区の後期高齢者口腔機能低下者の割合が市内第1位であることからオーラルフレイル予防は、喫緊の課題となっています。また、認知症の患者が増加する中で、認知症の普及啓発や予防が重要になってきており、活動継続のためには多くの支援が必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係
 令和元年度 鶴見区運営方針 「3子どもから大人まで安心・元気に」

3 根拠法令・要綱等
 老人福祉法、第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、認知症施策推進5か年計画、横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例

【実績の推移・今後見込み】
 平成30年度実績
 ・介護予防情報をタウンニュースに6回シリーズで掲載。「ひざひざワックン体操」10周年を記念し講座を開催。
 ・認知症介護を理解する冊子の作成(5,000部)。支援者向けの研修会『スリーA研修』(3回、各30人)。VRを利用した体験型講座の実施(1回、30人)
 ・安心介護サービス推進事業：利用者への情報提供等を実施

【実施内容】
 1 介護予防事業【新規】
 ・区内70歳の高齢者(約4000人)に横浜市歯周病検診(無料)の受診勧奨とオーラルフレイル予防啓発について個別通知します。
 2 認知症普及啓発事業
 ①キャラバン・メイトや認知症ヘルパー等の地域の支援者向けの研修会、『スリーA研修』を実施します。(3回、各30人)
 ②キャラバン・メイト等のフォローアップを目的とする、VRを利用した体験型の講座を実施します。(1回、60人程度)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
介護予防事業	自 1,160	重 488	672	新規事業費による増
認知症普及啓発事業	自 680	重 1,180	△ 500	単年度実施企画による減
高齢者虐待防止事業	自 0	重 85	△ 85	区配予算での対応による減
安心介護サービス推進事業	自 0	重 210	△ 210	区配予算での対応による減
			0	
			0	
事業費合計	1,840	1,963	△ 123	
内 自主企画事業費	1,840	1,963	△ 123	
訳 重点事業	0	1,963	△ 1,963	

【根拠とするデータ等】
 横浜市将来人口推計、要介護認定統計、平均寿命、健康寿命(平均自立期間)、横浜市高齢者一般調査「健康とくらしの調査」(H29.3)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域包括ケア推進担当
	坪山 清美	國本 幹子	城内 佑

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

No. 29

[鶴見 区 生活衛生 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成13年度
------	------------------------	---------	--------------------------	--------	--------

事業名 生活衛生サポート事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 33
	中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	991					991
前年度	1,212					1,212
増△減	△ 221	0	0	0	0	△ 221

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出	令和3年度	令和4年度
予算 事業費	828	998	1,033	予算 事業費	991	991
メリット＋一般財源	828	998	1,033	一般財源	991	991
決算 事業費	780	1,024	949	方針に関する決裁 種別()		
メリット＋一般財源	780	1,024	949	有:件名()、日付(年月)		
				無)		

事業の概要 (目的)	市民の食中毒等の健康危害を未然に防止するため、食品・環境衛生に関する最新の情報提供や啓発を行うとともに、犬猫の適正飼育に関する啓発や災害時ペット対策、またハチやネズミの駆除の支援等を通じて、区民が安全・安心で快適な生活が送れるようサポートします。
---------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	近年、加熱不十分な食肉による腸管出血性大腸菌感染症（O157等）やカンピロバクター、魚介類の寄生虫のアニサキス、ノロウイルス等による食中毒が市内外で数多く発生しています。その発生リスクは鶴見区内でも同様であり、区民の健康危害の未然防止には継続的な情報提供・普及啓発が求められています。 また、犬猫など動物の適正飼育や災害時ペット対策に対する区民の関心は高く、ハチやネズミの駆除等についても相談が多く寄せられている状況にあり、地域の問題解決に向けたサポートが求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和元年度鶴見区運営方針 3 「子どもから大人まで安心・元気に」
3 根拠法令・要綱等	食品衛生法、食品表示法、動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法、横浜市スズメバチ等対策実施要領、横浜市居住衛生対策業務実施要領、横浜市防疫対策実施要領、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

【実績の推移・今後見込み】					
内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
食中毒件数 ※	4	1	7	4	4
食中毒患者数 ※	28	3	53	25	25
食品苦情	39	39	74	50	50
食品相談	785	694	1,079	1,000	1,000
食肉 啓発・講習会	137	140	27	30	30
環境 啓発・講習会	10	15	5	7	7
ハチ相談	259	272	129	200	200

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
大苦情	297	176	233	240	240
猫苦情	251	165	315	320	320
犬の咬傷事故	10	8	4	5	5

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ネズミ相談件数	277	261	157	180	180
現地調査件数	29	26	8	15	15

- 【実施内容】
- 食品衛生関係事業
近年増加している、加熱不十分な食肉による、腸管出血性大腸菌（O157等）やカンピロバクター、魚介類に寄生しているアニサキスによる食中毒の防止について、関係施設への立入や各種講習会等を通じ普及啓発を実施します。
また、ノロウイルス食中毒を未然に防止するため、高齢者施設の給食施設や食事サービスボランティアの団体に対して衛生管理に関する指導・助言を重点的に実施します。
 - 環境衛生関係事業
ハチによる刺傷事故を未然に防止するため、駆除機材の貸し出しや、ネズミ捕獲機の貸し出しを実施します。
 - 人と動物の共生推進事業
人と動物が共に快適に暮らせる街づくりを推進するため、次の事業を行います。
 - 動物介在活動に参加するための、動物及び飼い主に関する審査会の開催
 - 犬の飼い主のマナー向上等、犬猫の適正飼育啓発事業の実施
 - 野良ねこの敷地への侵入やふん尿被害防止のための方策の提示及び超音波式ねこ被害軽減器の無料貸し出し
 - 拠点訓練や運営委員会での災害時ペット対策についての周知啓発や講演会の実施

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
食品衛生関係事業	自 405	自 528	△ 123	昨年度職場環境整備終了に伴う減	
環境衛生関係事業	自 115	自 100	15		
人と動物の共生推進事業	自 471	自 584	△ 113	災害時ペット対策啓発物品整備終了に伴う減	
			0		
			0		
事業費合計	991	1,212	△ 221		
内 自主企画事業費	991	1,212	△ 221		
内 重点事業	0	0	0		

【根拠とするデータ等】
窓口相談等受付件数（H30）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 相田 剛	係長 守屋 幹生	食品衛生係 環境衛生係 本橋昌也
--------------------	------------	-------------	------------------------